

消防年報

令和7年版



日南市消防本部

日南市の概要

位 置

日南市は、宮崎県の南部に位置し、東に日向灘を臨み西は都城市・三股町、南は串間市、北は宮崎市に隣接しています。宮崎市から日南市を経て鹿児島県に至る延長 112km は全国有数のリアス式海岸で、日南海岸国定公園の指定を受けています。



面 積

総面積 535.49 平方キロメートル
面積の約 78 パーセントが山林等です。

気 象

平均気温 18.7 度
年間を通じ温暖な気候です。
年間降水量 2573.5 ミリ

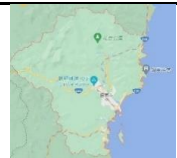



本市の気象は、太陽と海、みどりの山々に象徴されるように温暖多照の気候条件です。平野部では一年の日照時間が平均 2,200 時間以上と多く、南海型気候区に属する高知県・紀伊半島南部などとともに日本で最も日照に恵まれた地域の一つであり、温暖な地帯に属しています。特に冬季の日照時間は大変長く、冬型気圧配置で山沿いが曇っていても平野部は晴れている場合が多くなります。一方で鰐塚山系を含む本市は、多雨地域で、四国の太平洋岸、紀伊半島の東部とともに日本の最多雨地帯となっています。







平成 27 年 4 月 1 日に、桜の木とジャカラングが日南市の花木に制定されました。

一目統計

(令和7年4月1日現在)

面積・人口等 自然環境	面積	人口	世帯数	気象
				
	535.49km ²	46,392人	21,158世帯	年平均気温 18.7℃ 年間を通じ温暖 総降水量 2,573.5mm

消防予算 構成・人員	消防費	署・出張所	消防職員	消防団員数
				
	約15.04億円	1本部・1署 2出張所	86人 平均年齢(39.2歳)	960人 平均年齢(45.6歳)

消防車両 (常備) 水利	ポンプ車等	特殊車両等	救急車	消防水利
				
	ポンプ車1台 水槽付きポンプ車3	水槽車1台、救助工作車1台 化学消防ポンプ車1台 指揮車1台、火災調査車1台 資機材搬送車1台、救急普及車1台	救急車4台	消火栓 1,628基 防火水槽 319基

災害件数 (令和4年)	119番通報件数	火災	救急	救助
				
	3,645件	10件	2,802件	21件

予 防	防火対象物数	危険物施設数	消防同意数	少年消防防火クラブ
				幼年消防クラブ 2園 55名 少年消防クラブ 1小中学校 13名
	1,595棟	166施設	44件	

目 次

★ 総 括 ★

1	市勢	1
2	地域の発展	1
3	市街地の形成	1
4	現有消防力と人口・世帯・面積	2
5	消防の沿革	3
	(1) 旧日南市	3
	(2) 旧北郷町	1 3
	(3) 旧南郷町	1 4
	(4) 新日南市	1 6
6	消防本部・消防署・出張所の位置・構造	2 1
7	歴代消防長	2 1
8	日南市歴代消防団長	2 1
9	旧北郷町歴代消防団長	2 2
10	旧南郷町歴代消防団長	2 2

★ 組 織 ★

1	消防力の整備指針と本市の現況	2 3
2	消防本部・消防署の組織	2 4
3	消防本部・消防署の事務分掌	2 5
4	消防団の組織	2 8
5	消防職員の配置	2 9
6	消防職員の勤続年数	2 9
7	消防職員の年齢	3 0
8	消防職員の特殊技能資格取得状況	3 0
9	消防団員の年齢別構成	3 1
10	消防団員の定数と実員	3 1
11	消防団員報酬	3 1

★ 予 算 ★

1	令和7年度消防予算の対前年比	3 3
2	一般会計に対する消防費の比率(当初予算)	3 5
3	消防費に対する人口及び世帯の負担比較	3 5

★ 救急・救助 ★

1	令和6年中の救急概要	36
2	令和6年月別救急出動状況	37
	(1) 管内全体	37
	(2) 本署管内	38
	(3) 北郷出張所管内	38
	(4) 南郷出張所管内	38
3	平成26年以降の救急出動件数・搬送人員数	39
4	時間別事故種別出動件数	40
5	時間別事故種別搬送人員数	40
6	収容所要時間別搬送人員数	41
7	事故種別傷病程度別搬送人員数	41
8	事故種別医療機関別搬送人員数	42
9	管内救急告示病院一覧	42
10	救急隊員の行った応急処置件数	43
11	事故種別年齢区分搬送人員数	44
12	年齢区分別傷病程度別搬送人員数	44
13	現場到着所要時間別出場件数	45
14	事故種別不搬送理由別不搬送件数	45
15	事故種別転送回数別搬送人員数	46
16	傷病程度別転送回数別搬送人員数	46
17	令和6年中の救助業務概要	47
18	事故種別救助活動状況	48
19	管轄別救助活動件数	48

★ 消防水利・機械 ★

1	消防水利施設	49
2	常備消防・機械性能一覧	50
3	機械器具配置状況	51
4	非常備消防車両	52

★ 火 災 ★

1	令和6年中の火災概要	54
2	令和6年月別火災発生状況	55
3	令和6年火災発生記録	56
4	時間別出火件数	57
5	過去5年間種別火災発生件数	57
6	平成14年以降の1,000万円以上の損害を出した火災	58
7	平成13年以降地区別出火状況	59
8	平成13年以降死者を出した火災	60
9	過去5年間の原因別出火件数と損害額	61
10	過去5年間の林野火災	61

★ 危険物 ★

1	令和6年度の危険物関係及び防火対象物の概要	62
2	危険物施設状況	63
3	危険物類別状況	64
4	危険物数量別施設数	65
5	危険物施設の許可申請等処理状況	66
6	危険物規制事務処理状況	67
7	危険物手数料徴収状況	68

★ 予 防 ★

1	防火対象物状況 (消防用設備等及び防火管理者を要する対象物)	69
2	令和6年度予防関係諸届出状況	70
3	令和6年度月別工事別建築申請処理状況	71
4	令和6年度用途別建築申請処理状況表	72
5	防火対象物の階層別状況	73
6	日南市幼年少年防火クラブ結成状況	74

総括

1 市 勢

日南市は、宮崎県の南部に位置し、宮崎市、三股町、都城市、串間市に隣接、地域の東側は日向灘に面し、その海岸線は「日南海岸国定公園」に属しています。

一方、北西部の山地には、標高 1,000m級の小松山や男鈴山などを有し、本地域の8割弱が林野で、そのほとんどが飫肥杉などの人工林で占められています。

日南地方はその昔、平安朝時代藤原荘園として開拓された地方で日向八院の一つである飫肥院のあったところと伝えられています。建久元年、工藤祐経が日向地頭職に任ぜられてから、飫肥城をめぐり、伊東、島津の争いが続きましたが、豊臣秀吉の九州征伐後はついに伊東家の居城となり、五万一千石飫肥藩として広い領域を統治しました。

昭和 25 年 1 月 1 日、近隣の飫肥、吾田、油津、東郷の 4 町村が大同団結し市制を施行しました。その後 2 回に亘る隣接町村の合併によって、「日南市」の体制が完備され、平成 21 年 3 月 30 日、日南市、北郷町、南郷町の三市町による新設合併が行われました。風光明媚な日南海岸国定公園の港町「油津」、山紫水明の城下町「飫肥」、大自然に囲まれた、緑と清流と温泉の町「北郷」、豊かな大自然と触れ合い、カツオ一本釣りの港町「南郷」を観光拠点として「緑と黒潮が育む産業・文化・交流都市」をキャッチフレーズとして躍進が期待されています。

2 地域の発展

(推計人口)

事 項	年 月 日	合 併 区 域	面 積 (k m ²)	人 口 (人)	1 k m ² 当人口
市 制 施 行	昭和 25. 1. 1	—	98	41,238	421
第 1 次 合 併	昭和 30. 2. 11	細田町鵜戸村編入合併	191 (93)	57,020	299
第 2 次 合 併	昭和 31. 4. 1	酒谷村榎原村大窪地区編入合併	295 (104)	63,083	214
第 3 次 合 併	平成 21. 3. 30	日南市、北郷町、南郷町新設合併	536. 11	57,930	108
現 在	令和 7. 4. 1	—	535. 49	46,392	86. 6

() は合併地域の面積

3 市街地の形成

本市は、国道 222 号線に沿って、東西に帯状の市街地を形成しています。

東は遠洋漁業の拠点である油津港を中心に海運関連企業と商業の街区で、西は飫肥城を中核とする歴史と文化の街となっており、昭和 52 年、国の重要伝統的建造物群保存地区の選定を受け、小京都のイメージを今日に伝え、静かな観光ブームを迎えています。中央部は王子製紙日南工場及び傘下工場と官公庁が集中し、住宅も密集傾向にあり、日南市の中心になっています。

当市は、「人を創る」「安心を創る」「産業を創る」「未来を創る」の 4 つのテーマをまちづくりのコンセプトとして 4 つのテーマごとに整理を行い、事務事業を推進します。

4 現有消防力と人口・世帯・面積

令和7年4月1日現在

	人 員		車 両													
	定数	実員	水槽付消防ポンプ車	消防ポンプ車	水槽車	積載車	救急車	救助工作車	化学車	指揮車	火災調査車	資機材輸送車	防災学習車	救急普及啓発車	連絡車	予備車
消防本部	86	84	※3	1	1		4	1	1	1	1	1		1	1	1
消防団	1,036	960	1	12		36							1			1

※化学車に代えて配置する泡放出装置を備えた消防ポンプ自動車を含む。(日南南タンク)

令和7年4月1日現在

	面 積 (単位：km ²)	人 口 (単位：人)	世 帯 (単位：戸)
日 南 市	535.49	46,392	21,158

5 消防の沿革

(1) <旧日南市>

昭和25年 1月・日南市制施行日南市消防団発足

分団部	団員数	消防 ポンプ車	自動三輪 ポンプ車	手動動力 ポンプ	腕用 ポンプ
4分団25部	1,529名	4台	1台	5台	14台

3月・消防本部を設置

昭和27年 8月・日南消防署（油津地区）発足署員15名

消防ポンプ自動車1台を配備

昭和29年 4月・今町大火災により42棟全焼

昭和30年 2月・細田町、鶴戸村合併

分団部	団員数	消防 ポンプ車	自動三輪ポ ンプ車	手動動力 ポンプ	小型 ポンプ
6分団	1,317名	11台	1台	6台	19台

昭和31年 4月・酒谷村、榎原村大窪地区合併

分団部	団員数	消防 ポンプ車	自動三輪 ポンプ車	手引 ポンプ	小型 ポンプ	積載車
7分団38部	1,460名	12台	11台	6台	19台	3台

昭和32年 8月・水槽付消防ポンプ車1台（日南消防署）を配備

10月・消防専用電話（消防本部、日南消防署、日南市飲肥出張所間）を架設

昭和33年 2月・日本消防協会から優良消防団として団旗「竿頭綬（かんとうじゅ）」を拝受

3月・消防無線基地局（5W）、移動局1基を新設

10月・飲肥消防署発足、署員15名、水槽付消防ポンプ車、消防ポンプ車1台を配置

・日南消防署を油津消防署に改称

分団部	団員数	消防 ポンプ車	手引 ポンプ	小型 ポンプ	積載車
7分団36部	1,370名	12台	3台	24台	5台

昭和34年 ・市内7か所に防火推進モデル地区を設定し、火災予防の徹底を期す

- 昭和35年 5月・チリ地震による津波襲来
- 昭和36年 2月・日向灘地震（震度5）発生
4月・年次計画による鉄製ホース干台建設に着手
10月・水槽付消防ポンプ車（油津消防署）を更新
- 昭和38年 10月・消防吏員4名増員、署の編成を小隊、分隊組織（総員41名）に改組
11月・日本損害保険協会から消防ポンプ車1台（油津消防署）を受贈
・消防団員の定員1,370名から1,216名に改正
- 昭和39年 9月・9月24日、台風20号が来襲し、消防施設災害復旧のため予備費充用
12月・指揮車兼救急車（消防本部）を配備
- 昭和40年 1月・救急業務開始
- 昭和42年 3月・救急車（国庫補助：日南ロータリークラブから資金の一部を受贈）を配備、
昼間は消防本部、夜間は油津消防署での運用
・消防団拠点施設（東郷分団第5部）竣工
- 昭和43年 3月・日本消防協会から優良消防団として表彰旗を拝受
- 昭和44年 7月・5t水槽車（飢肥消防署）を配備
・消防無線基地と移動局3基を設置
11月・星倉水防倉庫を市役所内に移転新築し、中央水防倉庫と改称
- 昭和45年 消防無線移動局（指揮車）を設置
- 昭和46年 1月・永年日南市消防団長として、その重責を全うされていた竹田末義氏が1月1
1日に永眠され、その功を労い、正六位勲五等双光旭日章を贈り、日南市消
防団葬をもって冥福を祈る
11月・複雑化する火災に対処するため、耐熱服、空気呼吸器、高発泡器を配備
12月・消防庁舎建設予定地として、日南市中央通りに1,538㎡を購入
・年次計画による鉄製ホース干台の設置が本年度達成
- 昭和47年 4月・消防署員4名を増員し、条例定数を45名に改正
- 昭和48年 3月・中央通り一丁目1-9に消防庁舎竣工
・1本部、1署、2出張所とし、消防本部を4課（総務課・警防課・予防課・機
械課）体制に改編
・消防職員4名増員、条例定数を49名に改正
・油津出張所竣工
6月・農協共済から救急車1台を受贈
12月・消防団拠点施設（飢肥分団第2部）竣工
- 昭和49年 7月・無線移動局（消防署全車両）を設置
・市町村単独周波数に変更
11月・建物の高層化と災害の複雑化に対処するため救助隊を編成
・消防団拠点施設（飢肥分団第4部）竣工
- 昭和50年 4月・消防団組織（36か部→35か部、団員数1,032名→798名）を改編
・細田分団第1部、第2部を統合※細田分団第2部の名称が消滅

- 昭和51年 3月・治水ダム建設に伴い、消防団拠点施設（酒谷分団第3部）移転竣工
 ・消防団拠点施設（細田分団7部）竣工
 ・消防署訓練用地として367㎡を購入
 4月・毎月19日を「市民消防の日」と制定し、21時にサイレン吹鳴を開始
 9月・日本船舶振興会から小型動力ポンプ付積載車1台を受贈
- 昭和52年 3月・消防署飢肥出張所（新築）竣工
 ・消防団拠点施設（酒谷分団第1部）竣工
 5月・10t水槽車（消防署：2号車）を配備
 9月・消防ポンプ自動車（東郷分団第5部）を配備
 12月・中央水防倉庫（消防本部2F）竣工
- 昭和53年 1月・小型動力ポンプ積載車（酒谷分団第3部）を配備
 3月・油津分団（3か部を統合）格納庫を増築竣工
 7月・指揮車（消防本部）を配備
 11月・水槽付消防ポンプ自動車（油津出張所）を配備
 ・40㎡防火水槽2基（宮ノ前、風田：国庫補助）を設置
- 昭和54年 2月・救急車（消防署：国庫補助）を配備
 ・消防団拠点施設（細田分団第5部、7部）竣工
 ・小型動力ポンプ付積載車（飢肥分団第5部、吾田分団第5部、東郷分団第2部）を配備
 12月・小型動力ポンプ付積載車（東郷分団第3部、細田分団第4部）を配備
 ・消防ポンプ自動車（消防署：3号車）を更新
- 昭和55年 1月・消防救急指令装置C型を導入
 3月・消防団拠点施設（酒谷分団第2部、鶺鴒分団第3部）竣工
 ・20㎡防火水槽2基（上隈谷、中ノ八重）を設置
 4月・油津分団（3か部→2か部）、鶺鴒分団（5か部→3部）、東郷分団（7か部→4か部）を改編
 ・7か分団本部の団員を班長に改組
 9月・小型動力ポンプ付積載車（飢肥分団第4部、鶺鴒分団第1部、東郷分団第1部）を配備
 12月・小型動力ポンプ（吾田分団第5部、細田分団第3部）を配備
- 昭和56年 2月・40㎡防火水槽2基（東郷平山、鶺鴒宮浦）を設置
 ・消防団拠点施設（東郷分団第4部、鶺鴒分団第2部）竣工
 5月・油津銀天街大火災（24店舗全半焼）発生
 7月・消防団拠点施設（東郷分団第2部）竣工
 11月・消防ポンプ自動車（細田分団第1部）を配備
 ・小型動力ポンプ（細田分団第5部、鶺鴒分団第1部）を配備
 ・小型動力ポンプ付積載車（飢肥分団第2部、吾田分団第4部）を配備
- 昭和57年 3月・消防団拠点施設（酒谷分団第4部）竣工

- 4月・日南市と南郷町の消防事務委託による広域消防を発足
 - ・県農協共済連から救急車1台を受贈
 - ・消防吏員4名採用
- 6月・条例定数を61名に改正
- 8月・小型動力ポンプ（東郷分団第2部、酒谷分団第4部）を配備
- 9月・救助資機材搬送車（消防署：日本消防協会から受贈）を配備
 - ・40m³地下式防火水槽（飫肥今町住宅内）を設置
- 10月・小型動力ポンプ付積載車（細田分団第7部）を配備
- 11月・消防ポンプ自動車（吾田分団第2部）を配備
- 12月・消防団拠点施設（細田分団第4部、鶉戸分団第4部）竣工
- 昭和58年 1月・20m³地下式防火水槽3基（飫肥瀬田尾、細田東下中、酒谷秋山）を設置
- 2月・小型動力ポンプ付積載車（酒谷分団第2部）を配備
 - ・消防団拠点施設（細田分団第3部）竣工
- 3月・救助技術訓練施設（消防署）を増設
- 9月・消防団拠点施設（飫肥分団第2部）竣工
- 11月・小型動力ポンプ付積載車（吾田分団第1部）を配備
 - ・40m³地下式防火水槽（酒谷桜馬場）を設置
 - ・自治体消防35周年記念大会（日本武道館）正副団長、分団長10名出席
 - ・小型動力ポンプ（東郷分団第1部、細田分団第4部）を配備
- 昭和59年 1月・小型動力ポンプ付積載車（鶉戸分団第4部）を配備
- 2月・消防団拠点施設（細田分団第6部）竣工
 - ・20m³地下式防火水槽3基（飫肥倉掛、吾田後河内、鶉戸富士）を設置
- 3月・消防ポンプ自動車（油津分団第2部）を配備
 - ・消防団拠点施設（東郷分団第3部）竣工
 - ・消防庁舎別棟（2階建て：延べ面積320m²）竣工
- 5月・油津西町埋立地にて宮崎県総合防災訓練を実施
- 9月・14日、宮崎県消防操法大会（小型ポンプの部）「飫肥分団第2部準優勝」
 - ・40m³地下式防火水槽（油津西町）を設置
- 11月・小型動力ポンプ付積載車（吾田分団第6部、鶉戸分団第2部）を配備
 - ・水槽付消防ポンプ車Ⅱ型（消防署）を配備
- 12月・小型動力ポンプB3級（吾田分団第1部、消防署）を配備
- 昭和60年 2月・消防団拠点施設（飫肥分団第3部、吾田分団第4部、東郷分団第5部）竣工
 - ・消防無線局（基地局、滝ヶ平中継局、サイレン無線制御装置2カ所）竣工
 - ・20m³地下式防火水槽3基（酒谷鯛ノ子、飫肥原ノ迫、細田下方）を設置
- 3月・小型動力ポンプB3級（東郷分団第3部、飫肥分団第2部）を配備
- 4月・消防訓練場用地（西弁分1，781m²：換地1，178m²）取得
- 8月・消防庁舎冷暖房設備竣工
 - ・小型動力ポンプ（鶉戸分団第4部）を配備

- 9月・消防大学校救助科（1名）入校
 - ・油津西町にて南那珂支部消防操法大会（ポンプ車の部）を実施「飢肥1部優勝」
 - 10月・小型動力ポンプ付積載車（酒谷分団第4部）を配備
 - ・消防ポンプ自動車BD-I型（飢肥分団第3部）を配備
 - 11月・小型動力ポンプ付10t水槽車（消防署）を配備
 - ・消防訓練場用地取得西弁分1,011m²×4筆4,044m²:換地1,178m²、2,860m²
 - 12月・飢肥公民館、新町河原にて移動消防学校機関科を開校
 - ・消防団拠点施設（吾田分団第3部：木造二階建て）竣工
 - ・小型動力ポンプB3級（酒谷分団第2部）を配備
- 昭和61年
- 1月・消防訓練場用地（西弁分3筆2,694m²:換地1,985m²）取得
 - ・サイレン無線制御装置（市内9カ所）完成
 - 2月・20m³地下式防火水槽3基（山王、殿所、大窪）を設置
 - 3月・小型動力ポンプ付積載車（細田分団第5部）を設置
 - 4月・救急車（農協共済連から受贈）を配備
 - 7月・可搬式散水装置（消防署：1セット50個）を設置
 - ・細田水防倉庫（細田分団第3部裏）竣工
 - ・消防無線受令機（消防団車両：3セット60個）を設置
 - 8月・40m³地下式防火水槽（油津瀬西）を設置
 - 9月・東郷分団第1部、飢肥出張所を改築
 - 10月・小型動力ポンプ付積載車（細田分団第3部、第6部）を配備
 - 11月・小型動力ポンプ（飢肥分団第4部、第5部）を配備
 - ・消防ポンプ自動車BD-I型（油津分団第1部）を配備
 - 12月・消防団拠点施設敷地（吾田分団第2部：162m²）を購入
- 昭和62年
- 2月・消防団拠点施設（吾田分団第2部）竣工
 - ・20m³地下式防火水槽3基（福谷、吹毛井、上白木俣）を設置
 - ・障害突破用訓練塔（消防署）を増設竣工
 - 3月・ホース干台（酒谷分団第4部）を移転
 - ・「竿頭綬（かんとうじゅ）」消防庁長官表彰
 - 4月・吾田分団第2部と第5部を統合、7か分団31か部に改編
 - 9月・40m³防火水槽（前鶴）を設置
 - 10月・消防ポンプ自動車（飢肥分団第1部）を配備
 - 12月・救助工作車（消防署）を配備
- 昭和63年
- 3月・40m³防火水槽3基（上限谷、益安、伊比井）を設置
 - 9月・消防団拠点施設敷地（吾田分団第1部）を購入
 - 11月・水槽付消防ポンプ自動車II型（飢肥出張所）を配備
 - ・小型動力ポンプ付積載車（東郷分団第2部）を配備

- ・指揮車（消防本部）を配備
- 1 2月・消防団拠点施設（鵜戸分団第2部）増築
- ・40 m³防火水槽（松原団地）を設置
 - ・20 m³防火水槽3基（宿ノ河内、向田、甲東）を設置
- 平成元年 3月・消防団拠点施設（吾田分団第1部）竣工
- 4月・吾田分団第1部と第6部を統合、7か分団30か部に改編
- 7月・27日深夜から28日未明に来襲した台風11号は、近年稀に見る大洪水となり、各河川はことごとく決壊、氾濫し、流域住宅の避難勧告の発動となった。
- 1, 800名の避難にもかかわらず、職、団員の懸命な活動により、1名の人的被害を見なかったことは、高く評価され、住民の称賛するところであり、その功績を認められ宮崎県知事表彰を受賞
- 1 0月・40 m³防火水槽（向原）を設置
- ・20 m³防火水槽3基（松永、隈谷、小布瀬）を設置
- 1 1月・消防ポンプ自動車BD-I型（鵜戸分団第3部）、小型動力ポンプ付積載車（飫肥分団第5部）、小型動力ポンプB3級（吾田分団第4部）を配備
- 1 2月・消防団（細田分団第1部）格納庫を大幅増築し、コミュニティーセンターとして竣工
- 平成2年 3月・消防訓練場並びに訓練塔（A塔・B塔・C塔）竣工
- ・消防団拠点施設敷地（飫肥分団第5部：80.8 m²）を購入
- 9月・18日に19号、29日に20号、10月7日に21号と台風が相次いで来襲し、大きな災害をもたらしたが、前年に培った教訓を充分発揮し、その功績を称えられ、前年度に引き続き、宮崎県知事表彰（消防団）を受賞
- 1 0月・災害非常時の難聴地域解消のため、防災用サイレン（星倉地区）を設置
- ・40 m³防火水槽（下方）を設置
 - ・20 m³防火水槽4基（中ノ八重、中隈谷、富士、石束）を設置
- 1 1月・消防ポンプ自動車CD-I型（消防署）、小型動力ポンプ付積載車（東郷4部）を配備
- 平成3年 3月・消防団拠点施設（飫肥分団第5部）を増築
- 1 0月・第7回婦人消防操法大会（横浜市：酒谷10区婦人消防隊）に出場
- ・消防ポンプ自動車BD-I型（酒谷分団第1部）、小型動力ポンプB3級（細田分団第7部）、小型動力ポンプ付積載車（東郷分団第3部、細田分団第4部）を配備
 - ・40 m³防火水槽（吾田大谷地区）を設置
 - ・20 m³防火水槽3基（東郷帰石、飫肥観音、酒谷片頭）を設置
 - ・東郷分団第5部にコミュニティーセンターを竣工
- 平成4年 4月・北郷町の常備消防業務を受託
- ・消防吏員11名採用条例定数を71名に改正
- 5月・油津港にて宮崎県総合防災訓練を実施

- 9月・第23回宮崎県消防操法大会（小型ポンプの部）「吾田分団優勝」
- 10月・14日、第13回全国消防操法大会（横浜市：吾田分団）に出場
- ・消防ポンプ自動車BD-I型（吾田分団第3部）、小型動力ポンプB3級（細田分団第6部、鶴戸分団第2部）、小型動力ポンプ付積載車（東郷分団第1部、鶴戸分団第1部）を配備
 - ・消防団拠点施設（酒谷分団第1部：木造瓦葺二階建て）竣工
 - ・消防団拠点施設（細田分団第7部：待機室）の改善
 - ・40m³防火水槽2基（飫肥新町、細田狭間）を設置
- 平成5年
- 4月・消防吏員5名採用条例定数を75名に改正
- 9月・台風13号が、消防施設に多大の被害をもたらし、災害復旧事業で対応
- ・40m³防火水槽2基（飫肥大平、東郷田辺）を設置
 - ・消防ポンプ自動車BD-I型（東郷分団第5部）、小型動力ポンプB3級（細田分団第3部）、小型動力ポンプ付積載車（吾田分団第4部、飫肥分団第4部）を配備
 - ・消防団拠点施設（細田分団第4部、酒谷分団第2部）の改善
- 平成6年
- 1月・高規格救急車を導入
- 4月・救急救命士国家試験（1名）合格日南第1号
- 8月・無線、広報器材（日本消防協会から受贈）を配備
- 10月・消防団拠点施設（東郷分団第3部：待機室）の改善
- ・自家発電装置（消防署）を設置
 - ・保安帽（全消防団員）を支給
- 11月・救急救命士国家試験（1名）合格総計2名
- ・40m³防火水槽2基（訓練場、酒谷榎木田）を設置
 - ・水槽付消防ポンプ車（油津出張所）小型動力ポンプB3級（細田分団第5部、鶴戸分団第1部）、小型動力ポンプ付積載車（飫肥分団第2部、細田分団第7部）を配備
- 平成7年
- 1月・17日の午前5時46分、淡路島北部沖の明石海峡を震源とする「平成7年（1995年）年兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）」が発生地震の規模を示すマグニチュードはM7.3、震度7を観測し、1月31日～2月10日の11日間、給水支援のため5t給水車で職員2名を応援派遣
- 4月・救急車（消防署：JA共済連から受贈）を配備
- 6月・油津港にて日南市総合防災訓練を実施
- 9月・アポロ帽（全消防団員）を支給
- 11月・救急救命士国家試験（1名）合格総計3名
- ・放送設備一式（消防本部）を購入
- 平成8年
- 3月・日南市防災行政無線移動局、携帯局（消防団全車両30台）を設置
- ・40m³防火水槽2基（松永、下隈谷）を設置
 - ・小型動力ポンプB3級（東郷分団第2部、酒谷分団第4部）、多目的資機材搬

- 送車（消防署：クレーン付2 tトラック）を配備
- ・消防団拠点施設2棟（飢肥分団第2部、細田分団第6部：待機室）の改善
- 平成9年 3月・宮崎県市町村防災行政無線衛星局を設置
- ・40 m³防火水槽2基（板敷、益安）を設置
 - ・小型動力ポンプB3級（東郷分団第2部、酒谷分団第4部）、消防ポンプ車B D-I（細田分団第1部）を配備
 - ・消防団拠点施設2棟（東郷分団第2部、酒谷分団第4部：待機室）の改善
 - ・消防団拠点施設（鶴戸分団第4部：RC造平屋建て）竣工
- 4月・救急救命士国家試験（1名）合格総計4名
- 平成10年 3月・高規格救急車（消防署：安田生命保険相互会社から受贈）を配備
- ・40 m³防火水槽（毛吉田）を設置
 - ・小型動力ポンプB3級（飢肥分団第2部、吾田分団第1部）、消防ポンプ車B D-I（吾田分団第2部）、小型動力ポンプ付積載車（吾田分団第1部、酒谷分団第2部）を配備
 - ・消防団拠点施設（細田分団第3部：待機室）の改善
 - ・消防団拠点施設（油津分団第1、第2部）竣工
 - ・日南市消防署油津出張所（RC造平屋建て）竣工
- 5月・救急救命士国家試験（1名）合格総計5名
- 9月・27日、日南市総合運動公園において、自治体消防制度50周年記念事業の一環として日南市消防団活性化運動会を開催
- 平成11年 3月・指揮広報車（消防本部：財団法人日本消防協会から受贈）を配備
- ・指揮車、化学消防ポンプ自動車Ⅲ型、小型動力ポンプB3級、船外機付救助用ゴムボート（消防本部・署）を配備
 - ・小型動力ポンプB3級（東郷分団第3部）、小型動力ポンプ付積載車（鶴戸分団第2部、鶴戸分団第4部）を配備
 - ・40 m³防火水槽2基（塩鶴、川辺ヶ野）を設置
 - ・西ノ村地区防災用サイレン（無線制御装置付）を設置
 - ・消防団拠点施設（細田分団第5部：RC造平屋建て）竣工
- 平成11年 5月・救急救命士国家試験（1名）合格総計6名
- 平成12年 3月・空気充填室（消防署）完成
- 4月・水槽付消防ポンプ自動車（消防署：財団法人日本損害保険協会から受贈）を配備
- ・消防ポンプ自動車C D-I型（油津分団第2部）、小型動力ポンプ付積載車（酒谷分団第4部、細田分団第5部）、小型動力ポンプB3級（酒谷分団第2部）を配備
 - ・船外機付救助用ゴムボート（消防署）を配備
 - ・消防団拠点施設（東郷分団第1部：RC造平屋建て）竣工
 - ・救急救命士国家試験（1名）合格総計7名

- ・ 40 m³防火水槽 2 基（福谷、脇ヶ浜）を設置
- 7 月・発電機及び投光器一式（飫肥分団、東郷分団、酒谷分団、鶉戸分団）を配備
- 8 月・第 27 回宮崎県消防操法大会（小型ポンプの部）「酒谷分団準優勝」
- 10 月・空気呼吸器（消防署：3 体）を整備
- 12 月・消防ポンプ自動車 CD-I 型（消防署：4 号車、飫肥分団第 3 部）、小型動力ポンプ付積載車（細田分団第 3 部、細田分団第 6 部）、小型動力ポンプ B 3 級（飫肥分団第 4 部、第 5 部）を配備

- 平成 13 年 3 月・40 m³防火水槽 2 基（富士、楠原）を設置
- ・消防団拠点施設（鶉戸分団第 1 部：RC 造平屋建て）竣工
- 4 月・消防団の現勢

分団部	定員	実員	消防ポンプ車	小型ポンプ	積載車
7 分団 30 か部	798 名	798 名	10 台	21 台	21 台

- ・救急救命士国家試験合格（1 名）総計 8 名
 - 10 月・小型動力ポンプ付積載車 B 3 級（東郷分団第 2 部、酒谷分団第 3 部）を配備
 - 12 月・消防ポンプ自動車 CD-I 型（油津分団第 1 部）を配備
 - ・林野火災用動力噴霧器一式（消防署）を配備
- 平成 14 年 1 月・消防 OA システム（警防救急システム）導入
- ・消防指令室空調非常電源（消防署）設置
- 2 月・小型動力ポンプ付水槽車 II 型（消防署：2 号車）を配備
- 3 月・40 m³防火水槽 2 基（種子田、上方）を設置
- ・消防団拠点施設（飫肥分団第 4 部：RC 造平屋建て）竣工
- 4 月・救急救命士国家試験（1 名）合格総計 9 名
- 8 月・エアーテント（消防署）を購入
- 11 月・消防ポンプ自動車 CD-I 型（飫肥分団第 1 部）、小型動力ポンプ付積載車（飫肥分団第 5 部、東郷分団第 4 部）を配備

- 平成 15 年 3 月・高規格救助工作車 II 型（消防署）を配備
- ・消防団拠点施設（東郷分団第 4 部：耐火建物平屋建て）竣工
 - ・防火水槽 40 m³ 2 基（酒谷桜馬場、吾田隈谷団地）を設置
- 4 月・消防団の現勢

分団部	定員	実員	消防ポンプ車	小型ポンプ	積載車
7分団 30か部	798名	793名	10台	21台	21台

- 5月・救急救命士国家試験（1名）合格総計10名
9月・女性消防団員（10名）入団式
10月・26日、王子製紙グラウンドにおいて、自治体消防制度55周年記念事業の一環としてレクリエーション大会（運動会）を開催
11月・救急救命士国家試験（1名）合格総計11名
・高規格救急車（消防署：合計3台）を配備
12月・消防団拠点施設（細田分団第7部：RC造平屋建て）竣工
・条例定数を76名（県防災救急ヘリ派遣要員1名増員）に改正
平成16年 3月・消防庁長官から優良消防団として表彰旗を拝受
・日本消防協会から優良消防団として表彰旗を拝受
・高機能消防指令センターの竣工
4月・消防職員2名（うち救急救命士1名、退職者1名、県防災救急ヘリ派遣要員1名）採用
・救急救命士総計12名
・女性消防団員（5名）入団
・消防団の現勢

分団部	定員	実員	消防ポンプ車	小型ポンプ	積載車
7分団 30か部	798名	798名	11台	21台	21台

- 10月・宮崎県防災救急航空隊要員を1名派遣
12月・消防団拠点施設（酒谷分団第3部：RC造平屋建て）竣工
平成17年 2月・消防団地域活動表彰（東京都）受賞
・宮崎県防災救急航空隊運用開始
3月・災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型（消防署）を配備
5月・救急救命士国家試験（1名）合格総計13名
11月・消防団拠点施設（鶴戸分団第3部：RC造平屋建て）竣工
平成18年 2月・消防ポンプ自動車CD-I型（鶴戸分団第3部）を配備
4月・消防団の現勢

分団 部	定員	実員	消防 ポンプ車	小型 ポンプ	積載車
7分団 30か部	798名	795名	11台	21台	21台

・救急救命士国家試験（1名）合格総計14名

8月・NS超強カライト30基（消防団：（株）中村消防防災から受贈）を配備

・救急救命士気管挿管認定証（1名）取得

平成18年10月・救急救命士薬剤投与認定証（1名）取得

平成19年 3月・高規格救急車（消防署）を配備

5月・救急救命士気管挿管認定証（1名）取得

6月・救急救命士国家試験（1名）合格総計15名

平成20年 3月・消防ポンプ自動車CD-I型（消防署）を配備

4月・救急救命士国家試験（1名）合格総計16名

11月・高規格救急車（消防署）に配備

（2）＜旧北郷町＞

昭和23年10月・消防組織法施行に伴い、北郷村消防団設置条例が設定され新制度の消防団が発足

昭和25年 1月・北郷中学校少年消防隊を発足

昭和26年 3月・成績優秀により消防庁長官表彰旗を拝受

昭和32年10月・宮崎県操法大会（ポンプ車の部）：「優勝（1回目）」

3月・成績優秀により消防本部長章を受章

昭和33年 2月・成績優秀により日本消防協会長表彰旗を拝受

10月・宮崎県操法大会（ポンプ車の部）：「優勝（2回目）」

昭和34年 1月・町制施行により北郷町消防団に改称

10月・宮崎県操法大会（ポンプ車の部）：「優勝（3回目）」

昭和36年 3月・成績優秀により消防庁長官表彰旗を拝受

昭和47年 4月・救急業務を開始

昭和48年 7月・北郷町消防団ラッパ隊を発足

昭和50年 3月・北郷中学校、日本消防庁長官表彰を受章

・北郷中学校少年消防隊、表彰旗を拝受

昭和52年 3月・消防庁舎竣工

平成4年 4月・旧日南市へ消防事務・救急業務委託

平成7年 4月・防災行政無線開局（H8年戸別受信機設置）

平成8年 3月・宮崎県消防大会（ラッパ隊）：「優勝（1回目）」

平成13年11月・平嶋元団長、消防功績により勲五等瑞宝章を受章

平成15年 3月・宮崎県消防大会（ラッパ隊）：「優勝（2回目）」

平成18年 5月・平良前団長、消防功績により瑞宝双光章を受章

（3）＜旧南郷町＞

- 明治44年
- ・南郷村を4区域に分割
 - 第1部目井津
 - 第2部津屋野、谷之口、上中村
 - 第3部潟上、脇本
 - 第4部外浦、贄波
 - 大正3年・村から消防法被、支給服装を配備
 - 各組に腕用ポンプ1台を配備
- 大正 8年
- ・外浦地区で大火発生
- 昭和 4年
- ・手引ガソリンポンプ（第1部目井津、第4部外浦）を配備
- 昭和 5年
- ・婦人消防隊（第4部外浦）を結成
- 昭和10年
- ・消防組員600名（第5部栄松、第6部下中村）が発足手引ガソリンポンプ3台腕用ポンプ4台を配備
- 昭和11年
- ・フォード三輪消防ポンプ（第1部目井津）を配置
- 昭和12年 4月
- ・防空法により防護団が結成され、従来の消防組と合併し、警防団が誕生
- 昭和18年
- ・消防自動車（第1部目井津）を配備
 - 手引ガソリンポンプ2台、腕用ポンプ5台を配備
- 昭和23年 7月
- ・消防組織法が施行、警防団が改組され自治体消防団が発足
 - ・第7部（贄波）、第8部（津屋野、谷之口）が発足
 - ・各部に消防後援会と町消防後援会が発足団員数700名
- 昭和25年
- ・可搬式小型動力ポンプが出現
- 昭和28年
- ・消防自動車2台、小型動力ポンプ4台、腕用ポンプ7台を配備
- 昭和30年
- ・消防自動車2台、小型動力ポンプ9台、腕用ポンプ2台を配備
 - ・ポンプの動力化で常時出動可能な団員（定員は455名）を選出
- 昭和31年 4月
- ・榎原村との分村合併があり、榎原中講・下講を9部、上講を10部、九州造船社宅を第11部として編成（団員550名）
- 昭和33年
- ・上水道の完成により目井津、下中村、栄松、外浦の住宅密集地に消火栓を設置
- 昭和46年
- ・小型動力ポンプ2台、自動車ポンプ1台を配備
- 昭和47年
- ・警鐘台（第3部大牟礼）を建設
 - ・消防格納庫（第5部栄松：10坪耐火構造）を新設
 - ・盛夏服（新入団員全員）を貸与

- 昭和48年
 - ・第5部（栄松）と第11部（九州造船社宅）を統合
 - ・消防団定員395名
 - ・小型ポンプ車（第2部上中村）を配備
 - ・40m³防火水槽2基（第6部下中村）を設置
 - ・消防格納庫（第8部谷之口：7.5坪耐火構造）を建設
 - ・積載車（10部上講）を配備
- 昭和49年
 - ・アルミックス製防火衣（消防団：小型ポンプ1台につき2着、自動車ポンプ1台につき4着の合計50着）を貸与
 - ・水防倉庫（谷之口と下講）を統合
 - ・指揮車（消防団本部）を配備
 - ・積載車（第5部栄松）を配備
- 昭和50年
 - ・小型動力ポンプ（第3部脇本格納庫：38馬力）を配備
 - ・小型積載車（消防団本部）を配備
- 昭和51年
 - ・積載車（第2部上中村）を配備及び格納庫を新設
 - ・20m³防火水槽（第3部潟上下）を設置
 - ・20m³防火水槽2基（第8部谷之口）を設置
 - ・警鐘台兼ホース掛（第5部栄松）を設置
- 昭和52年
 - ・50m³有蓋防火水槽（第4部外浦）を設置
 - ・40m³有蓋防火水槽（第8部津屋野）を設置
 - ・20m³有蓋防火水槽（第9部榎原中講）を設置
 - ・消防格納庫（第7部贅波：コンクリートブロック造）を新設
- 昭和56年
 - ・小型動力ポンプ（第3部潟上下、第9部下講）を更新
 - ・40m³有蓋防火水槽（第2部上中村宮越地区）を設置
- 昭和57年
 - ・消防格納庫（第3部潟上下：コンクリートブロック造）を新設
 - ・小型動力ポンプ車（第4部外浦）を配備
 - ・40m³有蓋防火水槽（栄松保育所横）を設置
- 昭和58年
 - ・積載車（第3部潟上下）を配備
 - ・小型動力ポンプ付き積載車（第8部津屋野：消防協会から受贈）を配備
 - ・小型動力ポンプ付き積載車（3部潟上下・潟上中、10部上講）を配備
 - ・消防格納庫（第8部津屋野：コンクリートブロック造）を新設
- 昭和59年
 - ・消防格納庫（第9部下講：コンクリートブロック造）を新設
 - ・小型動力ポンプ付き積載車（中央町）を更新
 - ・小型動力ポンプ付き積載車（第3部潟上中）を更新
 - ・40m³防火水槽（第3部潟上大久保団地）を設置
- 昭和60年
 - ・小型動力ポンプ付き軽積載車（県内初：1部目井津地区）を配備
 - ・積載車（第9部下講）を配備
 - ・消防防災無線（移動系）を設置
 - ・20m³防火水槽（第9部下講）を設置

- 昭和61年
 - ・小型動力ポンプ車（第5部栄松、第7部贄波）を配備
 - ・小型動力ポンプ車（団本部：日本損害保険協会から受贈）を配備
 - ・消防格納庫（第3部脇本：コンクリートブロック造）を新設
 - ・20m³防火水槽（第8部谷之口）を設置
 - ・指揮車（団本部）を更新
- 昭和63年
 - ・幼年消防クラブ発足
- 平成元年
 - ・消防団を分団制に改組し、3分団制による活動を開始

(4) <新日南市>

- 平成21年 3月・日南市、北郷町、南郷町が合併し、新日南市誕生
- 4月・消防団の現勢

分団部	定員	実員	消防ポンプ車	小型動力ポンプ付積載車
14分団 54か部	1,406名	1,388名	19台	41台

- 平成22年 1月・防火水槽（北郷山仮屋区）を設置
- 2月・消防団拠点施設（南郷第1分団第5部：平屋建て）竣工
- 3月・水槽付消防ポンプ自動車（飢肥出張所：南郷出張所予定分）を配備
 - ・小型動力ポンプ付積載車（南郷第3分団脇本区、大牟礼区、南郷第2分団上講区）を配備
 - ・小型動力ポンプ付軽積載車（南郷第3分団大迫区、第2分団札之尾区）を配備
- 4月・宮崎県防災救急航空隊要員を1名派遣
 - ・救急救命士国家試験（1名）合格総計17名
 - ・消防吏員9名採用（うち救急救命士3名）
 - ・総員84名（うち救急救命士20名）条例定数86名
- 10月・消防団拠点施設（鵜戸分団第2部）格納庫増設
- 平成23年 3月・消防ポンプ自動車（酒谷1部）、小型動力ポンプ付積載車（東郷3部、細田4部）、水槽付消防ポンプ車（鵜戸分団、酒谷分団）を配備
 - ・11日の14時46分、太平洋三陸沖を震源とする「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）」が発生、地震の規模を示すマグニチュードはM9.0、最大震度7を観測した、日本の観測史上最大規模の地震
 - ・緊急消防援助隊発動により職員3名（3号車：岩手県陸前高田市）を派遣
 - ・消防団拠点施設（酒谷分団第2部：平屋建て）竣工

- ・ 飢肥・油津出張所を廃止し、同地区に消火栓ボックス92カ所を設置
 - ・ 南郷第1分団第12部を廃部
- 4月・北郷出張所新築開設（事業費145百万円）、南郷出張所改築開設（事業費45百万円）両出張所にそれぞれ水槽付消防ポンプ車・高規格救急自動車を配備
- ・ 消防吏員2名採用
 - ・ 救急救命士国家試験（1名）合格総計21名
- 10月・全国女性消防操法大会（横浜市）出場
- 12月・消防ポンプ自動車（吾田分団第3部）を配備
- 平成24年 1月・小型動力ポンプ付積載車（鶉戸分団第1部、東郷分団第1部）を配備
- 3月・小型動力ポンプ付積載車（南郷2部）、資材運搬車（消防署：8号車）を配備
- ・ 消防団拠点施設（南郷分団第11部）竣工
- 4月・救急救命士国家試験（1名）合格総計22名
- ・ 宮崎県ドクターヘリ運用開始
- 12月・小型動力ポンプ付積載車（飢肥分団第4部、吾田分団第4部、南郷第2分団第9部、南郷第3分団第7部）を配備
- 平成25年 3月・消防団拠点施設（飢肥分団第5部）竣工
- ・ 新消防庁舎（日南振徳商業高等学校跡地）建設着工
 - ・ 消防救急拠点施設通信指令システム（高機能消防指令センター及び消防救急デジタル無線）整備事業着手
 - ・ 救急救命士国家試験（1名）合格総計23名
 - ・ 北郷第2分団第11部を廃部
- 4月・宮崎県防災救急航空隊要員を1名派遣
- 11月・小型動力ポンプ付積載車（榎原分団第3部）を配備
- 平成26年 1月・40m³防火水槽（北郷：田代地区）を設置
- 3月・日南市消防団車両再編計画策定
- ・ 酒谷分団第3部と第4部を統合
 - ・ 北郷第3分団と第4分団を統合
 - ・ 上講と札之尾（南郷第2分団第10部）を統合
 - ・ 和田と脇本（南郷第3分団第3部）を統合
 - ・ 大迫と大牟礼（南郷第3分団第3部）を統合
 - ・ 贅波と夫婦浦（南郷第3分団第7部）を統合
 - ・ 救急救命士国家試験（1名）合格総計24名
 - ・ 新消防庁舎竣工
- 日南市大字殿所2026番地9（敷地面積：11,369.07m²）
- 庁舎棟：鉄筋コンクリート一部鉄骨造、2階建、3,136.07m²
- 主訓練棟：鉄筋コンクリート造、5階建、550.30m²
- 副訓練棟：鉄骨造、3階建、81.48m²

- 4月・新消防庁舎及び常備消防救急デジタル無線運用開始
 - ・消防吏員1名（退職者1名）採用
 - ・宮崎県ドクターカー運用開始
- 11月・小型動力ポンプ付積載車（北郷大藤分団第1部、飢肥分団第2部、細田分団第7部）を配備
 - ・消防ポンプ自動車（消防署）を配備
- 12月・消防ポンプ自動車（東郷分団第5部）を配備
- 2月・化学消防ポンプ自動車（消防署）を配備
 - ・消防ポンプ自動車（細田分団第1部：国無償貸付車）を配備
- 3月・消防団拠点施設（南郷潟上分団第3部）竣工
 - ・救命士国家試験（1名）合格総計24名
- 平成27年 4月・消防吏員2名（退職者2名）採用
- 平成28年 2月・高規格救急車（消防署）を配備
- 3月・救命士国家試験（1名）合格総計26名
- 4月・緊急消防援助隊派遣（熊本地震）熊本県益城町ほか4／14～4／26救急車1台（3名）×4次派遣
- 7月・AED（市内のコンビニエンスストア20店舗）を設置
- 12月・小型動力ポンプ付積載車（北郷郷之原分団第2部）を配備
- 平成29年 2月・消防救急デジタル無線機70基（消防団）を配備
 - ・消防ポンプ自動車（北郷郷之原分団第3部）を配備
- 3月・軽デッキバン小型ポンプ付積載車（日南初：北郷北河内分団第3部）を配備
 - ・消防団拠点施設（東郷分団第2部：松永）竣工
 - ・救命士国家試験（1名）合格総計27名
- 7月・緊急消防援助隊派遣（九州北部豪雨災害）大分県中津市ほか7／5～7／11救急車1台（4名）×2次派遣
- 8月・消防団拠点施設（細田分団第1部：大堂津）竣工 ※大堂津避難タワーとの複合施設
- 12月・小型動力ポンプ付積載車（吾田分団第1部、吾田分団第2部、酒谷分団第2部、南郷中央分団第1部）を配備
- 平成30年 3月・救命士国家試験（1名）合格総計28名
- 11月・消防団拠点施設（榎原分団第4部：榎原丙）竣工
- 平成31年 3月・救命士国家試験（1名）合格総計29名
 - ・消防ポンプ自動車（北郷大藤分団第2部）を配備
 - ・小型動力ポンプ付積載車（鶴戸分団第4部）を配備
- 4月・消防吏員5名（退職者4名）採用
- 11月・救急普及啓発広報車（消防署）を救急振興財団から寄贈配備
- 令和2年 1月・救助用資機材搭載型小型動力ポンプ自動車（油津分団第2部）を総務省消防庁から無償貸与配備

- 2月・防災学習指導車（消防署）を日本消防協会から寄贈配備
- 3月・小型動力ポンプ付水槽車（5 t）（消防署）を配備
 - ・救命士国家試験（1名）合格総計30名
- 4月・消防吏員1名（退職者2名）採用
 - ・消防団の現勢

分団 部	定員	実員	消防 ポンプ車	小型動力 ポンプ付積載車
13分団 49か部	1,080名	1,061名	13台	36台

- ・機能別団員を創設
- ・北郷北河内分団第3部と第4部を統合
- ・榎原分団第1部と第3部を統合
- ・小型動力ポンプ付積載車（細田分団第5部）（細田分団第6部）を配備
- 7月・緊急消防援助隊派遣（熊本豪雨）熊本県人吉市ほか7/4～7/10タンク車（4名）1・2次派遣7/10～7/13救急車（3名）3次派遣
- 12月・小型動力ポンプ付積載車（飢肥分団第3部）を配備
- 令和3年 1月・査察車（消防署）を配備
 - ・ドローン隊（愛称：White-eye.Nichinan）を発足
- 3月・消防ポンプ自動車（油津分団第1部）を配備
 - ・救助工作車（消防署）を配備
 - ・救命士国家試験（1名）合格総計31名
 - ・消防吏員退職者2名
- 4月・消防吏員4名（うち救命士1名）採用救命士総計32名
- 令和4年 2月・高規格救急車を南郷出張所へ配備
- 3月・救命士国家試験（1名）合格総計33名（2名は出向中）
 - ・軽四輪駆動小型ポンプ付積載車（酒谷3部）を配備
 - ・小型動力ポンプ付き積載車（東郷2部）を配備
 - ・消防吏員退職者4名
- 4月・消防吏員3名採用（定数外）
 - ・消防団の現勢

分団 部	定員	実員	消防 ポンプ車	小型動力 ポンプ付積載車
13分団 49か部	1,080名	980名	13台	36台

- 令和4年 10月・災害用ドローン Mavic 2 Enterprise Advance Plusを導入
 11月・大藤河川敷にて県防災訓練
- 令和5年 3月・救急救命士国家試験合格総計34名
 ・消防ポンプ自動車（飲肥1部）を配備
 ・小型動力ポンプ付き積載車（東郷4部）を配備
 ・高規格救急自動車 救急4号車を本署へ配備
- 4月・消防吏員3名採用（定数外）
 ・消防団の現勢

分団 部	定員	実員	消防 ポンプ車	小型動力 ポンプ付積載車
13分団 49か部	1,080名	954名	13台	36台

- 令和6年 3月・救急救命士国家試験合格総計35名
 ・消防吏員退職者3名定年延長4名
- 4月・消防吏員3名採用（定数外）
 ・消防団の現勢

分団 部	定員	実員	消防 ポンプ車	小型動力 ポンプ付積載車
13分団 49か部	1,036名	973名	13台	36台

- 6月・消防吏員1名退職（その後再任用）
 8月・女性消防吏員1名を採用
 8月・日向灘地震（震度6弱）
 10月・線状降水帯発生（福谷で男性1名死亡）
- 令和7年 2月・水槽付き消防ポンプ自動車更新
 3月・救急救命士国家試験合格1名総計33名（退職者3名減）
 3月・消防吏員4名退職
 4月・消防吏員1名（女性）採用

消防団の現勢 分団・部	定員	実員	消防 ポンプ車	小型動力 ポンプ付積載車
13分団 49か部	1,036名	960名	12台	37台

6 消防本部・消防署・出張所の位置・構造

名 称	所 在 地	構 造	面 積 (㎡)	竣工年月
消 防 庁 舎	日南市大字殿所 2026番地9	鉄筋コンクリート 一部鉄骨造2階建	3,136.07	H26. 4
主 訓 練 棟		鉄筋コンクリート造 5階建	550.30	H26. 4
副 訓 練 棟		鉄骨造 3階建敷地面積 11,369㎡	81.48	H26. 4
北 郷 出 張 所	日南市北郷町郷之原乙 1608番地	敷地面積 3,336.68㎡	476.00	H23. 3
南 郷 出 張 所	日南市南郷町南町 8番地2	敷地面積 3,868.25㎡	999.20	H23. 3

7 歴代消防長

就任・退任年月日	氏 名		氏 名
S25. 4.19~S26. 8.23	鈴木 義 文	H 3. 4. 1~H 6. 3.31	長 尾 宗 明
S26. 8.24~S26.10. 5	赤 星 寛*	H 6. 4. 1~H 9. 3.31	中 村 幸 次
S26.10. 6~S29. 6. 1	松 藤 良 三	H 9. 4. 1~H12. 3.31	金 丸 勇
S29. 6. 2~S29. 6.16	添 田 三次郎	H12. 4. 1~H14. 3.31	門 分 政 男
S29. 6.17~S30.10.10	安 藤 正 人	H14. 4. 1~H16. 3.31	川 崎 寿 郎
S30.10.11~S41. 6.30	野 辺 進	H16. 4. 1~H19. 3.31	井 田 正 則
S41. 7. 1~S45. 3.31	村 上 義 信*	H19. 4. 1~H22. 3.31	福 山 敏 夫
S45. 4. 1~S46. 3.31	池 田 三 郎*	H22. 4. 1~H24. 3.31	村 田 豊 年
S46. 4. 1~S47. 3.31	平 賀 祐 憲	H24. 4. 1~H27. 3.31	柳 沼 平八郎
S47. 4. 1~S52. 3.31	村 上 義 信	H27. 4. 1~H31. 3.31	釋 迦 野 明 生
S52. 4. 1~S54. 2. 1	川 邊 昇	H31. 4. 1~R 2. 3.31	田 中 謙 一
S54. 2. 2~S54. 3.31	河 野 禮三郎*	R 2. 4. 1~R 4. 3.31	安 樂 英 二
S54. 4. 1~S61. 3.31	谷 崎 清	R 4. 4. 1~R 6. 3.31	斎 藤 宏
S61. 4. 1~H元. 3.31	石 井 一 徳	R 6. 4. 1~現在	藤 井 和 巳
H元. 4. 1~H 3. 3.31	小 玉 吉 春		

*印は事務取り扱い兼任

8 日南市歴代消防団長

就任・退任年月日	氏 名	就任・退任年月日	氏 名
S25. 4. 1~S27. 2.20	細 田 実	H 8. 4. 1~H16.10.31	影 山 一 雄
S27. 4.21~S46. 1.11	竹 田 末 義	H16.11. 1~H22. 3.31	久 島 祥 敬
S46. 4. 1~S47. 3.31	平 部 典 俊	H22. 4. 1~H26. 3.31	濱 中 武 紀
S47. 4. 1~S53. 3.31	高 橋 義 夫	H26. 4. 1~R 2. 3.31	黒 木 新 一
S53. 4. 1~S63. 3.31	中 島 俊 一	R 2. 4. 1~R 6. 3.31	谷 口 慎 二
S63. 4. 1~H 8. 3.31	羽 藤 芳 信	R 6. 4. 1~現在	日 高 雅 夫

9 旧北郷町歴代消防団長

就任・退任年月日	氏 名	就任・退任年月日	氏 名
S23. 10. 1～S48. 3. 31	伊 東 武 信	H 6. 2. 12～H13. 3. 31	平 嶋 義 憲
S48. 4. 1～S61. 3. 31	加 藤 源 二	H13. 4. 1～H17. 3. 31	平 良 好 照
S61. 4. 1～H 5. 12. 20	黒 木 武 二	H17. 4. 1～H21. 3. 29	荒 武 正 行

10 旧南郷町歴代消防団長

就任・退任年月日	氏 名	就任・退任年月日	氏 名
S 3. 9. 1～S 5. 3. 31	崎 村 俊	S31. 9. 1～S36. 3. 31	中 村 欣 一
S 5. 4. 1～S12. 3. 31	古 澤 美 水	S36. 4. 1～H 3. 3. 31	畑 田 良 明
S12. 4. 1～S23. 1. 31	河 野 宇 市	H 3. 4. 1～H 7. 3. 31	松 尾 博 行
S23. 2. 1～S23. 8. 31	高 橋 萬 二	H 7. 4. 1～H15. 3. 31	松 田 謙 一 郎
S23. 9. 1～S26. 8. 31	日 高 嘉 正	H15. 4. 1～H21. 3. 29	沼 村 國 勝
S26. 9. 1～S31. 8. 31	倉 尾 昇		

組 織

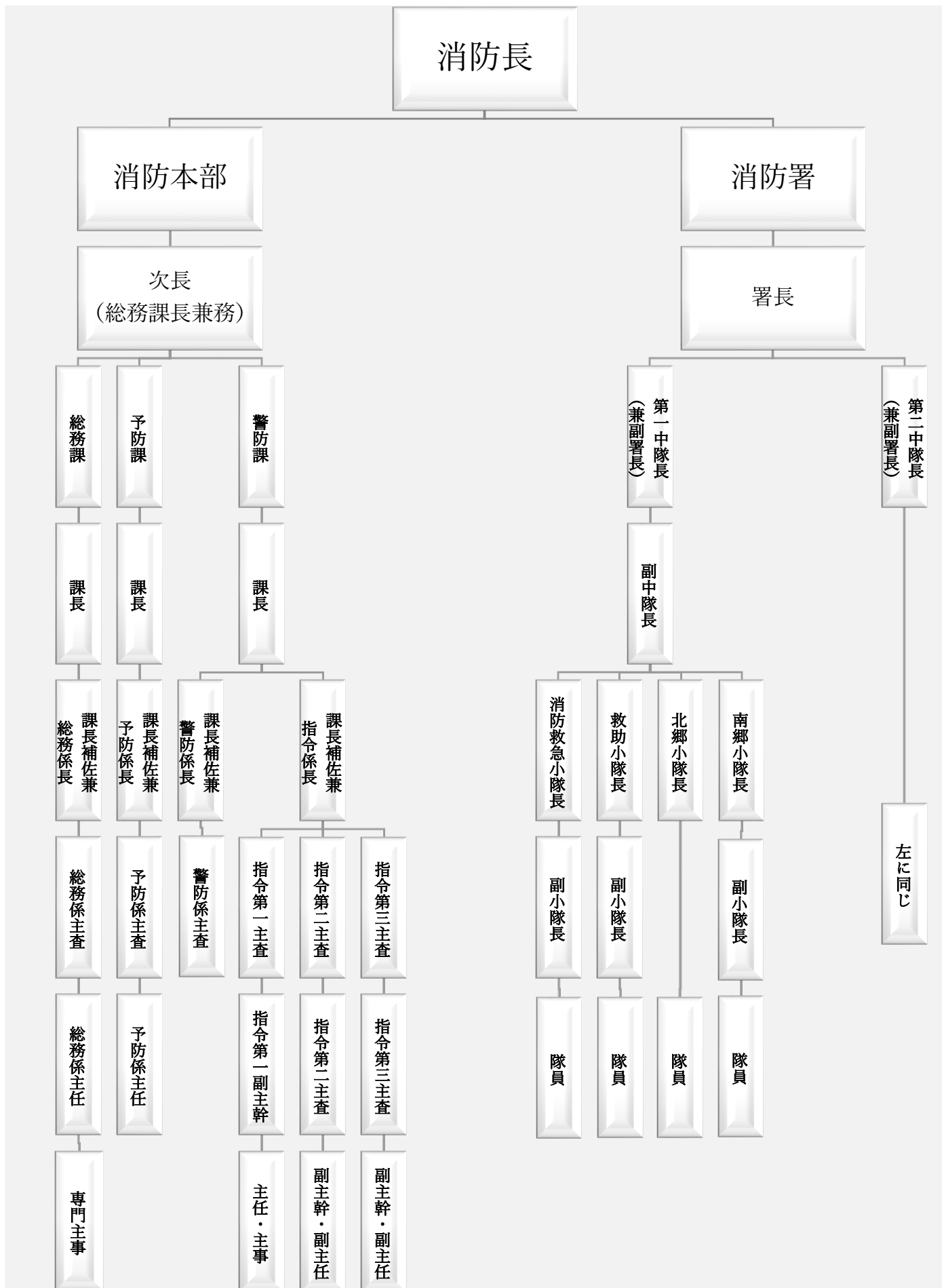
1 消防力の整備指針と本市の現況

(令和7年4月1日現在)

		基準数	現有数	不足数	比率 (%)	
施設	指揮車	1	1	0	100	
	署所	3	3	0	100	
	消防ポンプ自動車	4	4	0	100	
	はしご自動車	1	0	1	0	
	化学消防車	2	1 + (1) *1	0	100	
	救急自動車	4	4	0	100	
	救助工作車	1	1	0	100	
人員					総数	
	基準台数に対する人員の基準数 (人)				①	87
	現有台数に対する人員の基準数 (人)					64
	通信員の基準数 (人)				②	12
	予防要員の基準数 (人)				③	14
	庶務の処理等の人員 (人)				④	6
	現有人員数 (人)				⑤	83
	不足人員数 (人)				(①+②+③+④) - ⑤	36
	比率 (%)				⑤ / (①+②+③+④) × 100	69.7%

*1 化学消防車に読み代えて配備する消防ポンプ自動車を () 内に記載

2 消防本部・消防署の組織



3 消防本部・消防署の事務分掌

総務課

総務係

- 1 総務課の総括に関する事
- 2 消防本部内の総合調整に関する事
- 3 消防職員委員会に関する事
- 4 公印の管理に関する事
- 5 消防団組織の改編に関する事
- 6 人事及び組織に関する事
- 7 消防の総合計画及び調整に関する事
- 8 条例、規則に関する事
- 9 本部及び署内の予算編成及び決算に関する事
- 10 消防長会関係事務に関する事
- 11 消防職員の公務災害並びに賞じゅつ金に関する事
- 12 消防職員及び消防団員の貸与品に関する事
- 13 本部及び署内の予算執行に関する事
- 14 職員の給与、勤務時間、休日、休暇その他勤務条件に関する事
- 15 職員の衛生管理及び福利厚生に関する事
- 16 本部及び署内の庶務に関する事
- 17 庁舎及び備品の財産管理並びに処分に関する事
- 18 消防団の運営に関する事
- 19 消防団施設に関する事
- 20 消防出初式に関する事
- 21 消防団の訓練に関する事
- 22 消防団本部会計に関する事
- 23 消防団員の公務災害並びに賞じゅつ金に関する事
- 24 消防職員及び消防団員の表彰に関する事
- 25 消防団員の福利厚生に関する事
- 26 宮崎県消防協会南那珂支部の事務に関する事

警防課

警防係

- 1 警防課の総括及び関係各課との連絡調整に関する事
- 2 所属職員の指揮監督に関する事
- 3 消防本部車両納入計画及び消防団車両の再編に関する事
- 4 水火災の警戒防ぎよに関する事
- 5 自主防災組織に関する事
- 6 行方不明者等の捜索に関する事
- 7 予算編成及び執行に関する事
- 8 予算・決算に関する事
- 9 補助事業に関する事
- 10 救急研修及び指導体制に関する事
- 11 メディカルコントロールに関する事
- 12 ドローン隊に関する事
- 13 消防施設器材整備（救急資器材）に関する事
- 14 消防施設器材整備（救助資器材）に関する事
- 15 消防本部車両及び機械器具に関する事
- 16 消防団車両及び機械器具に関する事
- 17 国県補助金等に関する事
- 18 備品管理に関する事
- 19 各種訓練に関する事
- 20 救助指導会に関する事
- 21 緊急消防援助隊に関する事
- 22 消防水利等に関する事
- 23 水門・陸こう等に関する事
- 24 救急業務（救急法指導、各種調査）に関する事
- 25 救命率向上 AED 設置事業に関する事
- 26 ファイリングに関する事

指令係

- 1 係の統括に関する事
- 2 各課及び署の調整事項に関する事
- 3 指令係の定員管理に関する事
- 4 事務事業進行管理に関する事
- 5 予算編成及び執行に関する事
- 6 指令台及びデジタル無線保守等、他契約全般に関する事
- 7 各種調査報告に関する事
- 8 各種訓練に関する事
- 9 備品管理に関する事
- 10 住基調査・支援情報更新に関する事
- 11 防災行政無線業務に関する事
- 12 消防年報に関する事
- 13 ファイリングに関する事
- 14 消防指令業務の共同運用に関する事
- 15 指令台増幅（Net 1 1 9）導入に関する事
- 16 プリンター管理に関する事
- 17 無線免許申請・変更に関する事
- 18 災害時要援護者登録制に関する事
- 19 ホームページに関する事

予防課

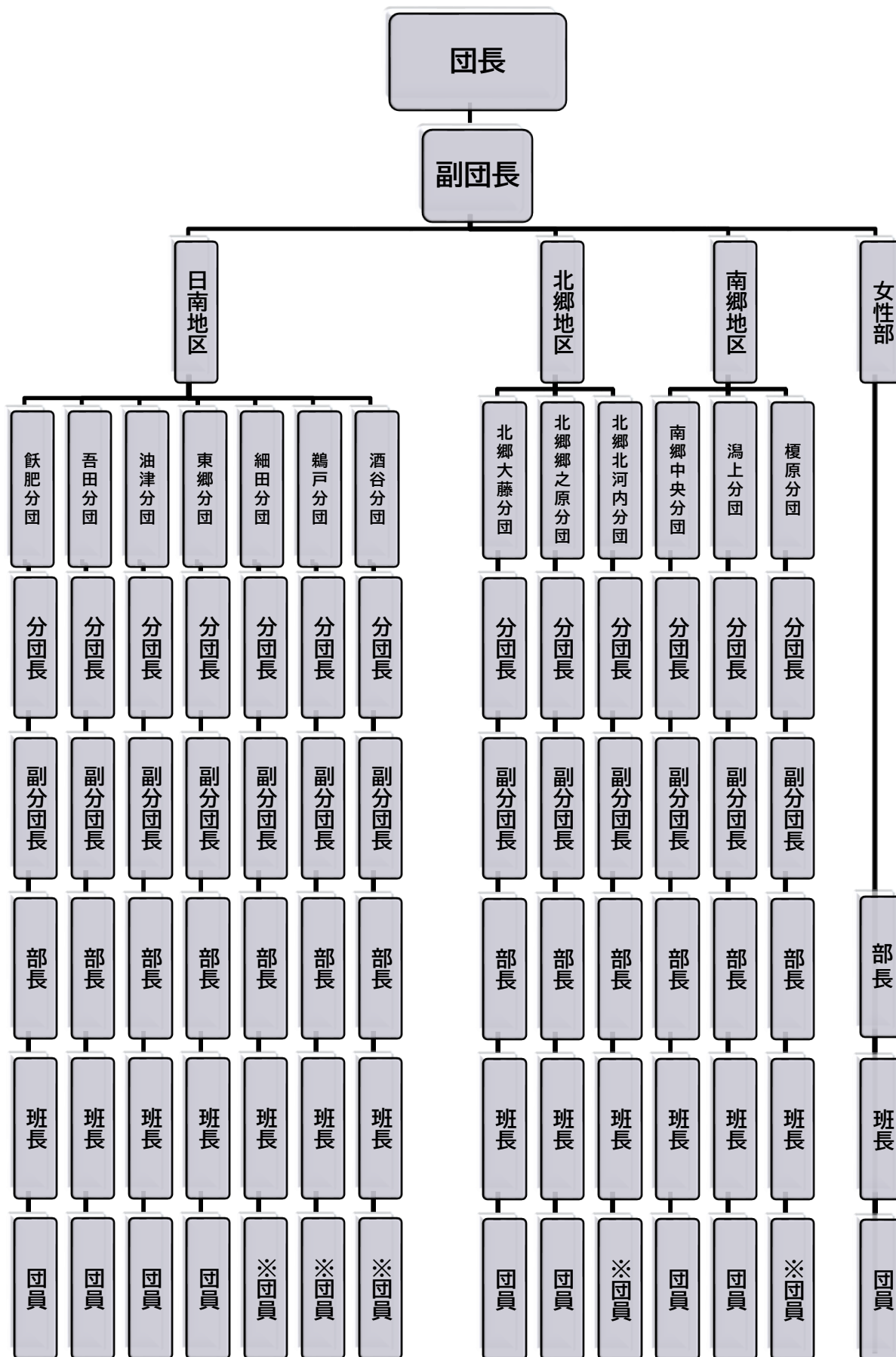
予防係

- 1 予防課の総括に関する事
- 2 火災原因及び損害調査に関する事
- 3 火災統計及び損害調査に関する事
- 4 火災予防条例の改正に関する事
- 5 火災予防及び広報に関する事
- 6 予防統計に関する事
- 7 火災証明に関する事
- 8 住宅用火災警報器の設置促進に関する事
- 9 防火対象物及び危険物施設の査察計画に関する事
- 10 建築物等の防火及び予防規制に関する事
- 11 建築同意に関する事
- 12 消防用設備等の指導及び検査に関する事
- 13 違反処理及び違反処理是正の指導に関する事
- 14 枯草調査に関する事
- 15 危険物の規制及び指導に関する事
- 16 危険物取扱者試験前講習及び保安講習に関する事
- 17 油流出調査に関する事
- 18 煙火消費許可及び立入検査に関する事
- 19 幼少年消防クラブに関する事

消防署

- 1 消防署の総括に関する事
- 2 署内の総合調整に関する事
- 3 緊急消防援助隊に関する事
- 4 中隊の総括に関する事
- 5 中隊内の総合調整に関する事
- 6 総合訓練等の計画及び実施に関する事
- 7 署内の勤務編成に関する事
- 8 警防活動に関する事
- 9 諸災害の調査に関する事
- 10 消防署の庶務に関する事
- 11 災害の警備及び予防に関する事
- 12 消防訓練及び指導等に関する事
- 13 消防施設及び機械器具の維持管理に関する事
- 14 消防活動計画に関する事
- 15 予防及び立入検査に関する事
- 16 消防水利及び陸こう・水門の維持管理に関する事
- 17 出動に関する事
- 18 救急業務及び統計に関する事
- 19 救急訓練等に関する事
- 20 救急法指導に関する事
- 21 救急施設及び機械器具の維持管理に関する事
- 22 メディカルコントロールに関する事
- 23 夜間特殊勤務に関する事
- 24 救助業務及び統計に関する事
- 25 救助訓練等に関する事
- 26 救助施設及び機械器具の維持管理に関する事
- 27 救助技術指導会に関する事
- 28 時間外勤務に関する事
- 29 出張所業務に関する事
- 30 その他署長が命令する事項に関する事

4 消防団の組織



※ 機能別団員を含む

5 消防職員の配置（令和7年 4月 1日現在）定数外2名、出向1名含む

階級	区分	内約					計
	消防本部	消防本部 指令係	本署	北郷出張所	南郷出張所	出向	
消防司令長	1						1
消防司令	4						4
消防司令補	8	6	18	4	4	1	41
消防士長	1	3	8	4	2		18
消防士		3	15		4		22
専門主事	1						1
計	15	12	41	8	10	1	87

6 消防職員の勤続年数（令和7年 4月 1日現在）

階級	区分						計
	消防士	消防士長	消防司令補	消防司令	消防司令長	専門主事	
5年未満	15						15
5年以上10年未満	7	3					10
10年以上15年未満		6	2				8
15年以上20年未満		2	10				12
20年以上25年未満		2	5				7
25年以上30年未満			11				11
30年以上		5	13	4	1	1	24
合計	22	18	41	4	1	1	87

7 消防職員の年齢(令和7年 4月 1日現在)

階級 区分	消防士	消防士長	消防司令補	消防司令	消防司令長	専門主事	計
18歳～25歳	17	0	0	0	0	0	17
26歳～30歳	4	6	0	0	0	0	10
31歳～35歳	1	3	4	0	0	0	8
36歳～40歳	0	3	9	0	0	0	12
41歳～45歳	0	1	7	0	0	0	8
46歳～50歳	0	1	9	0	0	0	10
51歳～55歳	0	4	9	1	0	0	14
56歳以上	0	0	3	3	1	1	8
合計	22	18	41	4	1	1	87

8 消防職員の特殊技能資格取得状況(令和7年 4月 1日現在)

区分	合計
大型自動車免許	70
中型自動車免許	17
普通自動車免許	87
救急救命士免許	33
指導救命士	4
衛生管理者	4
特殊無線技師	80
小型移動式クレーン	62
玉掛け	70
小型船舶操縦士	42
酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者	38
ドローン操縦士	9
予防技術検定(防火対象物)	37
予防技術検定(設備)	12
予防技術検定(危険物)	10

	定員	年額報酬	総額	その他手当
団長	1	160,000	160,000	出動報酬（1回）
副団長	3	120,000	360,000	4時間未満 一人 2,000円
分団長	13	104,000	1,352,000	4時間以上 一人 4,000円
副分団長	26	68,000	1,768,000	7時間45分以上 一人 8,000円
部長	49	58,000	2,842,000	その他団長が認める業務
班長	214	37,000	7,918,000	（一回） 一人 2,000円
団員	608	36,500	22,192,000	
計	914		36,592,000	

予 算

1 令和7年度消防予算の対前年比

歳入

(単位：千円)

科 目	令和7年度 当初予算額	令和6年度 当初予算額	比 較
使用料及び手数料	1,003	975	28
国県支出金	1,000	1,000	0
雑 入	27,928	37,915	△ 9,987
市 債	505,800	269,700	236,100
計	535,731	309,590	226,141

歳出

(単位：千円)

目	節	令和7年度 当初予算額	令和6年度 当初予算額	比 較
常備消防費	給 料	327,171	318,941	8,230
	職 員 手 当 等	222,063	214,207	7,856
	共 済 費	107,104	110,077	△ 2,973
	報 償 費	61	61	0
	旅 費	4,452	3,974	478
	需 用 費	29,994	27,574	2420
	役 務 費	11,183	10,696	487
	委 託 料	11,421	12,812	△ 1,391
	使用料及び賃借料	1,130	1,092	38
	備品購入費	146	3,505	△ 3359
	負担金補助及び交付金	4,580	5,106	△ 526
	公 課 費	424	628	△ 204
	計		719,729	708,673
非常備消防費	報 酬	57,143	60,803	△ 3660
	共 済 費	21,078	21,078	0
	災 害 補 償 費	2,155	2,127	28
	報 償 費	26,554	29,163	△ 2609
	旅 費	734	762	△ 28
	需 用 費	9,225	8,672	553
	役 務 費	2,777	2,780	△ 3
	委 託 料	57	53	4
	使用料及び賃借料	2,571	2,639	△ 68
	備品購入費	2,957	1,980	977
	負担金補助及び交付金	6,181	6,897	△ 716
	公 課 費	778	906	△ 128
	計		132,210	137,860

歳 出

(単位：千円)

目	節	令和7年度 当初予算額	令和6年度 当初予算額	比 較
消防施設費	需用費	9,959	8,392	1,567
	役務費	72	75	△ 3
	委託料	0	17,000	△ 17,000
	工事請負費	542,277	0	542,277
	備品購入費	41,000	123,067	-82,067
	負担金補助及び交付金	0	0	0
	公課費	99	132	△ 33
	計	593,407	148,666	444,741
水防費	需用費	748	707	41
	委託料	1,747	1,649	98
	計	2,495	2,356	139
災害対策費	報酬	2,631	2,393	238
	給料	6,166	2,993	3173
	職員手当等	5,161	4,137	1024
	共済費	2,248	1,452	796
	報償費	54	54	0
	旅費	297	256	41
	需用費	5,378	30,894	△ 25516
	役務費	6,571	6,661	△ 90
	委託料	21,947	17,738	4,209
	使用料及び賃借料	166	910	△ 744
	工事請負費	0	134,782	△ 134,782
	備品購入費	0	0	0
	負担金補助及び交付金	5,820	6,185	△ 365
	計	56,439	208,455	△ 152,016
合計		1,504,280	1,206,010	298,270

2 一般会計に対する消防費の比率（当初予算）

（単位：千円）

年度	一般会計	消防費	比率	備考
H20	16,170,000	710,876	4.40%	
21	8,940,000	291,454	3.26%	暫定予算
22	26,170,000	1,255,409	4.80%	
23	25,680,000	926,958	3.61%	
24	26,040,000	1,042,779	4.00%	
25	25,230,000	1,808,317	7.17%	
26	26,710,000	1,035,184	3.88%	
27	26,110,000	976,613	3.74%	
28	27,190,000	984,991	3.62%	
29	24,970,000	1,041,568	4.17%	
30	25,360,000	1,006,958	3.97%	
R元	26,000,000	1,308,056	5.03%	
2	27,430,000	1,875,697	6.84%	
3	29,020,000	1,002,599	3.45%	
4	33,500,000	1,135,500	3.39%	
5	31,490,000	1,038,332	3.30%	
6	31,720,000	1,206,010	3.80%	
7	36,630,000	1,504,280	4.11%	

3 消防費に対する人口及び世帯の負担比較

年度	消防費（千円）	人口	1人当負担額（円）	世帯	1世帯当負担額（円）	備考
H20	710,876	60,250	11,799	23,630	30,084	
21	暫定予算のため比較不可					
22	1,255,409	57,406	21,868	23,723	52,919	
23	926,958	56,759	16,331	23,153	40,036	
24	1,042,779	56,505	18,455	23,413	44,538	
25	1,808,317	55,691	32,470	23,343	77,467	
26	1,035,184	56,829	18,216	23,255	44,514	
27	976,613	54,230	18,009	23,162	42,164	
28	984,991	53,452	18,428	22,473	43,830	
29	1,041,568	52,735	19,751	22,489	46,315	
30	1,006,958	51,959	19,380	22,375	45,004	
R元	1,308,056	51,290	25,503	22,303	58,649	
2	1,875,697	50,418	37,203	22,122	84,789	
3	1,002,599	51,878	19,326	26,473	37,872	
4	1,135,500	49,702	22,846	21,669	52,402	
5	1,038,332	48,290	21,502	21,518	48,254	
6	1,206,010	47,396	25,445	21,388	56,387	
7	1,504,280	46,392	32,425	21,158	71,097	

救急・救助

1 令和6年中の救急概要

令和6年中の救急活動状況は、出場件数が2,802件で前年より182件の減少となりました。

管轄内区別では、本署1,924件（前年比-103件）、北郷228件（-116件）、南郷649件（+36件）、管轄外1件の出場となっており、1日約8件の割合で救急隊が出場していることとなります。

搬送人員は2,209人で前年より78人の減少となり、管内住民47,396人（令和6年4月1日現在）の約21人に1人が救急隊によって搬送されたこととなります。

また、平成24年4月18日から宮崎県ドクターヘリの運航が始まり、当市への令和6年の出勤件数は11件で、現場出場が5件、病院間の転院搬送が0件でした。

（1）事故種別の出場状況（前年比）

出場件数2,802件のうち急病によるものが最も多く、1,863件（-134件）、次いで一般負傷419件（-7件）転院搬送326件（+16件）、の順となっており、救急事故11種別中に急病、一般負傷、転院搬送の割合が全体の93%を占めています。

（2）年齢区分別搬送人員

医療機関搬送人員2,209人のうち新生児2人、乳幼児51人、少年40人、成人493人、高齢者1,623人の搬送となっており、高齢者の搬送が全体の73%を占めています。

（3）医療機関別搬送人員

全体で2,209人の救急患者を医療機関へ搬送していますが、このうち2,000人（91%）を管内医療機関へ搬送しています。

（4）転院搬送出場状況

出場2,802件のうち326件（12%）が転院搬送件数で、転院搬送については、ほとんどが専門医療機関への転院となっています。

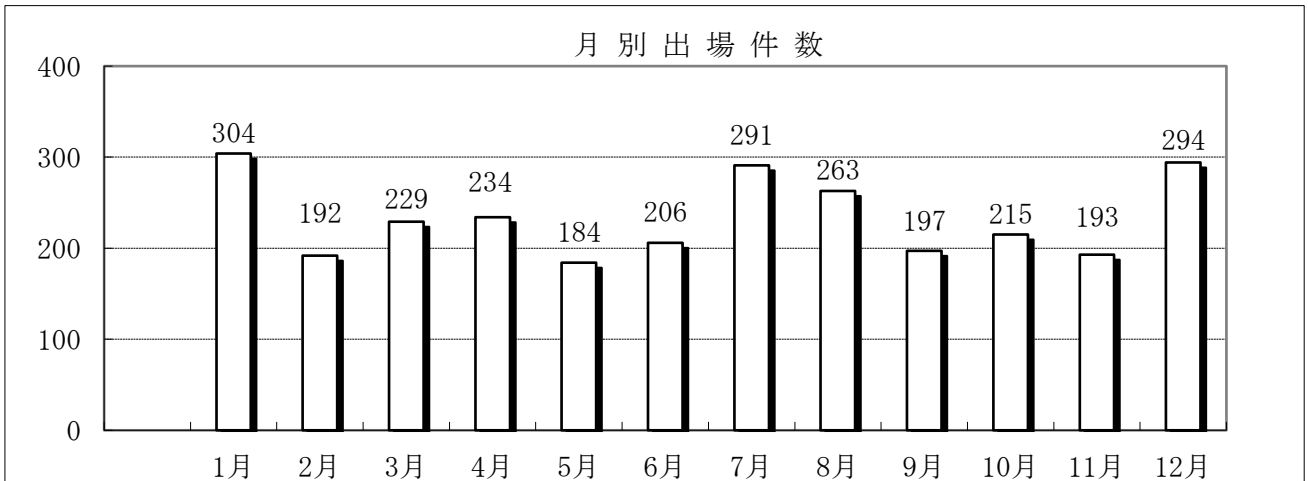
（5）応急手当講習状況

救急業務において、傷病者の救命率の向上を図るには、救急隊員の応急処置技術の向上及び救急資機材等の有効な活用とともに、救急現場に居合わせた家族（バイスタンダー）などの的確な応急手当は不可欠であり、このため住民に対する、応急手当の普及啓発を図ることは極めて重要で、平成7年から規則を制定し普及啓発活動を実施しています。

令和6年度に実施した救命入門コースは72回、受講者数は1,640人、普通救命講習は13回、受講者数は171人です。

2 令和6年月別救急出場状況

(1) 管内全体



月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
月別出場件数	304	192	229	234	184	206	291	263	197	215	193	294
搬送人員	228	145	195	196	146	165	215	203	158	168	158	232
本署	出場件数	203	129	149	158	124	143	192	178	141	145	213
	搬送人員	150	94	125	132	97	113	135	135	113	115	167
北郷	出場件数	36	13	20	19	17	20	39	29	18	24	27
	搬送人員	29	9	18	14	11	14	26	21	16	20	23
南郷	出場件数	65	50	61	59	44	43	64	56	39	46	54
	搬送人員	49	42	52	50	38	38	54	47	29	33	42

	区分	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
累計	出場件数	2,802	1	3	3	114	38	12	419	4	16	1,863	329
	不搬送	601		1	3	34	6		67	1	8	477	4
	搬送人員	2,209	1	2		87	32	12	352	3	8	1,388	324
傷病別	死亡	53				1			3		1	48	
	重症	348				10	4	1	52	1	2	176	102
	中等症	982				25	12	2	135		5	596	207
	軽症	827	1	2		51	16	9	162	2		569	15
	その他												

(2) 本署管内

	区 分	合計	火 災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他
日 南	出場件数	1,924	1	3	3	91	29	11	279	2	12	1,285	208
	不 搬 送	434		1	3	25	5		48		6	345	1
	搬送人員	1,495	1	2		72	24	11	231	2	6	941	205
傷 病 別	死 亡	36				1			3		1	31	
	重 症	243				8	4	1	36	1	2	123	68
	中等症	648				21	8	2	86		3	403	125
	軽 症	568	1	2		42	12	8	106	1		384	12
	その他												

(3) 北郷出張所管内

	区 分	合計	火 災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他
北 郷	出場件数	229				8	4		32	2	1	173	9
	不 搬 送	52				3	1		8	1		39	
	搬送人員	177				5	3		24	1	1	134	9
傷 病 者	死 亡	8										8	
	重 症	28				2			2			20	4
	中等症	77				1	2		13		1	55	5
	軽 症	64				2	1		9	1		51	
	その他												

(4) 南郷出張所管内

	区 分	合計	火 災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他
南 郷	出場件数	649				15	5	1	108		3	405	112
	不 搬 送	112				6			11		2	92	1
	搬送人員	537				10	5	1	97		1	313	110
傷 病 者	死 亡	9										9	
	重 症	77							14			33	30
	中等症	257				3	2		36		1	138	77
	軽 症	194				7	3	1	47			133	3
	その他												

4 時間別事故種別出動件数

(件数)

事故種別 区分		火 災	自然 災害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	その他			計
												転 院 搬 送	医 師 搬 送	そ の 他	
計		1	3	3	114	38	12	419	4	16	1863	326	1	2	2802
時 間 別 内 訳	0～2				1			14		1	108	7			131
	2～4				3			8		2	87	2			102
	4～6				4	1		15	1		90	2			113
	6～8				8	3		38		1	124	4			178
	8～10		1		24	5	2	64		1	223	41	1		362
	10～12				18	9	3	63			199	89			381
	12～14			1	7	4	5	47		4	194	64			326
	14～16	1		1	14	7	2	53		2	169	46		1	296
	16～18		1	1	13	6		34		1	174	33			263
	18～20		1		11	3		39	1	1	202	13			271
	20～22				5			25	1		175	13		1	220
	22～24				6			19	1	3	118	12			159

5 時間別事故種別搬送人員数

(人数)

事故種別 区分		火 災	自然 災害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	計
時 間 別 内 訳	0～2				1			9		1	64	7	82
	2～4				3			6		1	62	2	74
	4～6				2	1		11	1		60	2	77
	6～8				5	3		30			89	3	130
	8～10				21	4	2	63		1	189	41	321
	10～12				13	8	3	58			157	89	328
	12～14				6	3	5	40		1	137	64	256
	14～16	1			13	7	2	47		1	128	45	244
	16～18		1		8	5		30			133	33	210
	18～20		1		7	1		27		1	146	13	196
	20～22				3			15	1		136	13	168
	22～24				5			16	1	2	87	12	123

6 収容所要時間別搬送人員数

事故種別	収容所要時間		20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上	計 (人)	収容平均 所要時間 (分)
	10分未満	10分以上						
急病		2	125	961	281	19	1,388	49
交通			6	58	20	3	87	53
一般負傷		1	26	233	89	3	352	50
その他		16	148	118	99	1	382	39
計		19	305	1,370	489	26	2,209	

7 事故種別傷病程度別搬送人員数

傷病程度	事故種別											
	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
死亡				1			3		1	48		53
重症				10	4	1	52	1	2	176	102	348
中等症				25	12	2	135		5	596	207	982
軽症	1	2		51	16	9	162	2		568	15	826
その他												0
計	1	2	0	87	32	12	352	3	8	1,388	324	2,209

8 事故種別医療機関別搬送人員数

医療機関等	救急告示医療機関						その他の医療機関						計				その他の場所	合計	
	国 立	公 立	公 的	私 的		計	国 立	公 立	公 的	私 的		計	国 立	公 立	公 的	私 的			
				病 院	診 療 所					病 院	診 療 所					病 院			診 療 所
その他	63	262		18	1	344		1			15	24	40	63	263		33	25	384

9 管内救急告示病院一覧

番号	病 院 名	経営主体	住 所	院 長	病 床 数	告示年月日
1	宮崎県立日南病院	宮崎県	日南市木山 一丁目9番5号	原 誠一郎	281床	令和元年7月17日
2	日南市立中部病院	日南市	日南市大堂津 五丁目10番1号	中津留 邦展	88床	令和3年4月5日

10 救急隊員の行った応急処置件数

事故種別 応急処置	急病	交通	一般負傷	その他	計
応急処置対象人員（人数）	1,386	87	351	382	2,206
止血	2	2	22	6	32
固定	1	22	32	7	62
人工呼吸	3	0	0	0	3
心マッサージ	0	0	0	0	0
心肺蘇生	56	0	3	1	60
酸素吸入	271	7	16	76	370
気道確保	63	1	3	2	69
保温	48	5	21	15	89
被覆	2	7	39	6	54
在宅療法	2	0	0	0	2
ショックパンツ	0	0	0	0	0
除細動	7	0	0	0	7
静脈路確保 (輸液)	42	1	1	0	44
薬剤投与	23	0	1	0	24
その他の応急処置	1,301	79	326	336	2,042
血圧測定	1,320	87	346	371	2,124
聴診器等	980	65	195	137	1,377
血中酸素	1,345	87	350	381	2,163
心電図	1,304	69	270	297	1,940
β刺激薬投与	0	0	0	0	0
血糖測定	97	1	5	1	104
エピペン投与	0	0	0	0	0
ブドウ糖投与	8	0	0	0	8
計（件数）	6,875	433	1,630	1,636	10,574

11 事故種別年齢区分搬送人員数

(人数)

事故種別 年齢区分	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自損 行為	急 病	そ の 他	計
新生児											2	2
乳幼児				1			7			37	6	51
少年				6		5	9			16	4	40
成人		1		43	22	5	50	1	6	297	68	493
高齢者	1	1		37	10	2	286	2	2	1,038	244	1,623
計	1	2	0	87	32	12	352	3	8	1,388	324	2,209

12 年齢区分別傷病程度別搬送人員数

(人数)

	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	計
死亡				8	45	53
重症			1	60	287	348
中等症	2	21	11	198	750	982
軽症		30	28	227	541	826
その他						
計	2	51	40	493	1,623	2,209

13 現場到着所要時間別出場件数

(件数)

時間 事故種別	所要時間区分					計	現場到着 平均所要時間
	3分未満	3~5分 未満	5~10分 未満	10~20分 未満	20分以上		
急病	3	37	979	780	64	1,863	10
交通	1	4	48	39	22	114	12.9
一般負傷	1	10	221	160	27	419	10.5
その他	7	30	245	115	9	406	9.1
計	12	81	1,493	1,094	122	2,802	

14 事故種別不搬送理由別不搬送件数

(件数)

事故種別 不搬送理由	火災	自然火災	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				計
											転院搬送	医師搬送	具機材輸送	その他	
辞退（到着前）				1						9					10
辞退（到着後）				23	3		55	1	5	339	2				428
拒否							1			6					7
明らかな死亡		1	1	1			1		2	59					65
他車(隊)搬送				4			1			2					7
傷病者なし				1						4				1	6
誤報・いたづら										3				1	4
その他			2		3		9		1	54		1			70
計	0	1	3	30	6	0	67	1	8	476	2	1	0	2	597

15 事故種別転送回数別搬送人員数

(人数)

事故種別 転送回数	急病	交通	一般負傷	その他	計
0回	1,366	87	334	380	2,167
1回	22		18	2	42
2回					
3回					
4回					
5回					
計	1,388	87	352	382	2,209

16 傷病程度別転送回数別搬送人員数

(人数)

傷病程度 転送回数	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上	計
死亡	53						53
重症	336	12					348
中等症	960	22					982
軽症	818	8					826
その他							0
計	2,167	42	0	0	0	0	2,209

17 令和6年の救助業務概要

(1) 救助隊概要

日南市の救助業務は、日南市消防署に1隊2交替制の救助小隊を配置し、合計16名の隊員(うち2名が救急救命士)で業務を行っています。

(2) 任務・近況

救助隊員は、火災をはじめ、交通、水難、山岳や自然災害による事故や、特殊災害対応等あらゆる災害に対しての救助活動を行います。

また、それらの各種災害に対応するため、高度な救助技術の習得や、強靱な心身の向上など、厳しい訓練や研修に励み、日々自己研鑽を重ねています。近年、救助事案は全国的に減少傾向ではありますが、ひとたび災害が発生してしまうと、都市構造の複雑化による災害の激甚化と活動の長期化が懸念されています。

(3) 連携

災害事案によっては、活動現場への進入が困難な場合や、要救助者の搬送に時間を費やす場合がありますが、宮崎県防災救急ヘリ<あおぞら>との連携により、迅速な隊員の現場投入、要救助者の救出や搬送が可能となっています。

また、平成24年4月18日から運航開始した宮崎県ドクターヘリ及びドクターカーによる医師の災害現場投入が可能になり、要救助者に対して、医師による高度な医療処置を速やかに行えるようになりました。

(4) 活動の概要

令和6年中の救助活動の大半は交通事故となっており、交通事故の出動件数は全体の47%(全21件中10件)を占めています。主に交通救助の活動は、要救助者が事故車両内に閉じ込められて、自力で車外に脱出できないため出動要請されるもので、救助隊員が油圧救助器具等を駆使して、事故車両のドア解放や要救助者が挟まっている部分の間隙を作って救出します。どの救助事案においても、救急隊や各関係機関との連携を取りつつ、スムーズな救助活動を実施しています。なお、救助出動件数と活動件数については、管轄別救助活動状況をご参照ください。

18 事故種別救助活動状況

事故種別		火災	交通事故	水難事故	自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	爆発事故	その他事故	合計
	出動件数		10	3		1				7	21
	活動件数		10	3		0				7	20
	救助人員		8	4		0				6	18

19 管轄別救助出動件数

管轄	事故種別										
	火災	交通事故	水難事故	自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	爆発事故	その他事故	合計	
本署		9	3		1				4	17	
北郷		1							2	3	
南郷									1	1	

消防水利・機械

1 消防水利施設

(令和7年4月1日現在)

区分 地区別		消 火 栓				防火水槽		貯水池	井戸	プール	水利 合計	適合水利	
		地 上		地 下		40m ³ 以上	20m ³ ～ 40m ³ 未満	40m ³ 以上				消火栓	防火 水槽
		150mm 以上	150mm 未満	150mm 以上	150mm 未満								
飲肥	公設			19	125	10	17			4	175	19	10
	私設					1					1		1
吾田	公設			129	225	8	11			4	377	131	8
	私設					1					1		1
油津	公設		1	86	126	13	4			3	233	171	13
	私設												
東郷	公設			49	81	7	13			2	152	75	7
	私設				2	1					3	1	1
細田	公設			26	88	13	18			4	149	38	13
	私設				1						1		
鶯戸	公設			1	30	9	11			1	52	4	9
	私設												
酒谷	公設				6	10	16			1	33		10
	私設												
北郷	公設			5	80	65	17			1	168	7	65
	私設												
南郷	公設	1	1	59	144	45	29			4	283	79	45
	私設												
公 設		1	2	374	905	180	136			24	1,622	524	180
私 設					3	3					6	1	3
合 計		1	2	374	908	183	136			24	1,628	525	183

2 常備消防・機械性能一覧

(令和7年4月1日現在)

車名	車両	登録番号	登録年月日	ポンプ	備考
				級別・型式等	
日南タンク (1号車)	水Ⅱ型2t	830す 2501	令和7年2月6日	モリタ A2タービン	泡消火装置付 水槽付消防ポンプ自動車 日野
日南水槽 (2号車)	水槽車5t (大型車)	830そ 2019	令和2年3月30日	シバウラ(可搬) B-2級FS500	日野
日南ポンプ (3号車)	CDI	800す 1741	平成26年11月25日	モリタ	消防ポンプ自動車 日野
日南北タンク (5号車)	水ⅠA型1.5t	800は 862	平成23年 3月31日	GMイチハラ A2タービン	泡消火装置付 水槽付消防ポンプ自動車 日野
日南南タンク (6号車)	水ⅠA型1.5t	800は 807	平成22年 3月31日	GMイチハラ A2タービン	泡消火装置付 水槽付消防ポンプ自動車 日野
日南指揮 (7号車)	指揮車 (普通乗)	80さ 9731	平成23年 3月28日		三菱
日南支援 (8号車)	資機材搬送車 (クレーン付)	800す 272	平成24年 3月29日		日野
日南査察 (9号車)	火災調査車 (軽自動車)	883あ 2020	令和3年 1月25日		ダイハツ
日南救助 (10号車)	救助工作車	831は 119	令和3年 3月17日		日野
日南化学 (11号車)	化学車 (中型車)	800は 1083	平成27年 2月19日	モリタ	泡消火装置付 日野
日南救急1 (救急1)	高規格救急車	830さ 2016	平成28年 2月10日		トヨタ
日南救急2 (救急4)	高規格救急車	830さ 2304	令和5年 3月 9日		日産
日南北救急 (救急5)	高規格救急車	830せ 2405	令和6年 3月21日		トヨタ
日南南救急 (救急6)	高規格救急車	830さ 2206	令和4年 2月10日		トヨタ
	救急普及 啓発活動車	880す 4383	令和元年11月11日		一般財団法人救急振興財団寄贈 日産
予備車	救急車	830さ 2305	平成23年 2月25日		トヨタ

3 機械器具配置状況

(令和7年4月1日現在)

所 属	緊急自動車													小 型 動 力 ポ ン プ	小 計	合 計
	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 車	消 防 ポ ン プ 車	小 型 動 力 ポ ン プ 付 水 槽 車	化 学 消 防 ポ ン プ 車	救 助 工 作 車	資 器 材 搬 送 車	高 規 格 救 急 車	指 揮 車	火 災 調 査 車	連 絡 車	小 型 動 力 ポ ン プ 積 載 車	そ の 他 の 車 両	小 計			
消 防 本 部								1	1	1		1	4			4
消 防 署	1	1	1	1	1	1	2						8			8
北郷出張所	1						1						2			2
南郷出張所	1						1						2			2
小 計	3	1	1	1	1	1	4	1	1	1		1	16			16
消 防 団	団 本 部											1	1			1
	飢 肥 分 団		1								4		5			5
	吾 田 分 団		1								3		4			4
	油 津 分 団		1								1		2			2
	東 郷 分 団		1								4		5			5
	細 田 分 団		1								5		6			6
	鶉 戸 分 団		1								3		4			4
	酒 谷 分 団		1								2		3			3
	小 計		7								22		30			30
	北郷大藤分団		1								2		3			3
北郷郷之原分団		1								2		3			3	
北郷北河内分団	1									2		3	1	1	4	
小 計	1	2								6		9	1	1	10	
南郷中央分団		1								2		3			3	
榎 原 分 団		1								3		4			4	
瀧 上 分 団										4		4			4	
小 計		2								9		11			11	
合 計	4	12	1	1	1	1	4	1	1	1	37	2	66	1	1	67

4 非常備消防車両

(令和7年4月1日)

NO	分団	部 (格納庫)	車 両	登録番号	登録年月日	燃 料	備 考
1	猷肥分団	1部 (鳥居下)	ポンプ車	830さ2301	令和5年3月14日	軽 油	AT車
2		2部 (板 敷)	積載車	830つ1402	平成26年11月6日	ガソリン	
3		3部 (今 町)	積載車	830つ2003	令和 2年12月14日	ガソリン	AT車
4		4部 (吉野方)	積載車	830す1204	平成24年11月21日	ガソリン	
5		5部 (楠 原)	積載車	830さ1209	平成24年11月20日	ガソリン	
6	吾田分団	1部 (星 倉)	積載車	830す1701	平成29年12月4日	ガソリン	AT車
7		2部 (戸 高)	積載車	830す1702	平成29年12月4日	ガソリン	AT車
8		3部 (平 野)	ポンプ車	800す 76	平成23年12月21日	軽 油	
9		4部 (隈 谷)	積載車	830せ1204	平成24年11月21日	ガソリン	
10	油津分団	1部 (園 田)	ポンプ車	830そ2001	令和 3年 3月25日	軽 油	AT車
11		2部 (園 田)	積載車	800す 4451	令和 2年 1月15日	ガソリン	総務省貸付
12	東郷分団	1部 (殿 所)	積載車	800す 118	平成24年1月18日	ガソリン	
13		2部 (松 永)	積載車	830せ2202	令和4年3月25日	ガソリン	AT車
14		3部 (益 安)	積載車	800さ9505	平成22年10月21日	ガソリン	
15		4部 (風 田)	積載車	830す2504	令和5年3月28日	ガソリン	AT車
16		5部 (甲 東)	ポンプ車	830そ1405	平成26年12月9日	軽 油	
17	細田分団	1部 (大堂津)	ポンプ車	800す1836	平成27年2月5日	軽 油	総務省貸付
18		3部 (下 方)	積載車	800さ8417	平成28年11月21日	ガソリン	
19		4部 (毛吉田)	積載車	800さ9508	平成22年10月21日	ガソリン	
20		5部 (萩之峯)	積載車	830す1905	令和 2年 4月15日	ガソリン	AT車
21		6部 (下塚田)	積載車	830さ1906	令和 2年 4月15日	ガソリン	AT車
22		7部 (大 窪)	積載車	830そ1407	平成26年11月5日	ガソリン	
23		鵜戸分団	1部 (吹毛井)	積載車	800す 117	平成24年1月18日	ガソリン
24	2部 (富 土)		積載車	800さ9218	平成22年3月23日	ガソリン	
25	3部 (宮 浦)		ポンプ車	800さ6579	平成18年2月1日	軽 油	
26	4部 (伊比井)		積載車	830さ1804	平成31年3月8日	ガソリン	AT車
27	酒谷分団	1部 (桜馬場)	ポンプ車	800さ9734	平成23年3月30日	軽 油	
28		2部 (鯛の子)	積載車	830す2902	平成29年12月6日	ガソリン	AT車
29		3部 (名尾ノ下)	軽積載車	883あ2103	令和4年3月9日	ガソリン	AT車

NO	分団	部 (格納庫)	車 両	登録番号	登録年月日	燃 料	備 考
1	北郷大藤分団	1部 (内之田)	積載車	830た1401	平成26年11月6日	ガソリン	
2		2部 (大 藤)	ポンプ車	830そ1802	平成31年3月22日	軽 油	AT車
3		3部 (倉 迫)	積載車	800さ4814	平成15年12月18日	軽 油	
4	北郷郷之原分団	1部 (太 夫)	積載車	800さ4815	平成21年12月15日	軽 油	
5		2部 (一之瀬)	積載車	830す1602	平成28年12月14日	ガソリン	
6		3部 (立 野)	ポンプ車	830さ2803	平成29年2月14日	ガソリン	
7	北郷北河内分団	1部 (坂 元)	水槽付き ポンプ車	800さ8541	平成21年2月26日	軽 油	
8		2部 (平 佐)	軽積載車	880あ 296	平成19年12月10日	ガソリン	
9		3部 (田 代)	積載車	800さ6663	平成18年3月3日	軽 油	
10	南郷中央分団	1部 (目井津)	積載車	830そ2901	平成29年12月6日	ガソリン	AT車
11		2部 (栄 松)	積載車	830ね 119	平成18年12月22日	ガソリン	
12		3部 (中央町)	ポンプ車	800さ6504	平成17年12月20日	軽 油	
13	榎原分団	1部 (津屋野)	積載車	830さ1303	平成25年11月20日	ガソリン	
14		2部 (上中村)	積載車	800す 184	平成24年2月24日	ガソリン	
15		4部 (下 講)	ポンプ車	800さ7985	平成20年3月7日	軽 油	
16		5部 (上 講)	積載車	880さ9217	平成22年3月23日	ガソリン	
17	潟上分団	1部 (贅 波)	積載車	830さ1207	平成24年10月11日	ガソリン	
18		2部 (新 開)	積載車	830さ2502	令和7年3月21日	ガソリン	
19		3部 (和 田)	積載車	800さ9219	平成22年3月23日	ガソリン	
20		3部 (大 迫)	軽デッキ バン	883あ1603	平成29年1月16日	ガソリン	

1	本部	12号車	防災学習 指導車	800す4474	令和2年1月21日	ガソリン	
2	本部	予備車	軽積載車	880あ562	平成22年3月24日	ガソリン	

火災

1 令和6年中の火災概要

(1) 出火件数

令和6年中の出火件数は10件で、昨年と比べ6件減少しました。

火災種別ごとにみると、建物火災が6件で総出火件数の60%と昨年と同率でした。

それ以外は、火入れによるその他の火災が4件発生しました。

(2) 火災の損害・死傷者の状況

焼損棟数は10棟で昨年より増加しましたが、焼損床面積は227㎡と前年の6割程度でした。

損害額は582千円で昨年の損害額20,606千円より減少しました。

火災による死傷者数は1名、負傷者は1名。

(3) 出火原因

主な出火原因は「不明」を除くと「火入れ」が4件、リール機より出火が1件、サンダーからの飛び火が1件、放火が1件発生しました。

(4) 時間帯別火災発生状況

火災発生を時間帯別にみると、建物火災は16時以降に3件発生しています。なお、火入れによるその他の火災については日中（12時～16時）に4件発生しました。

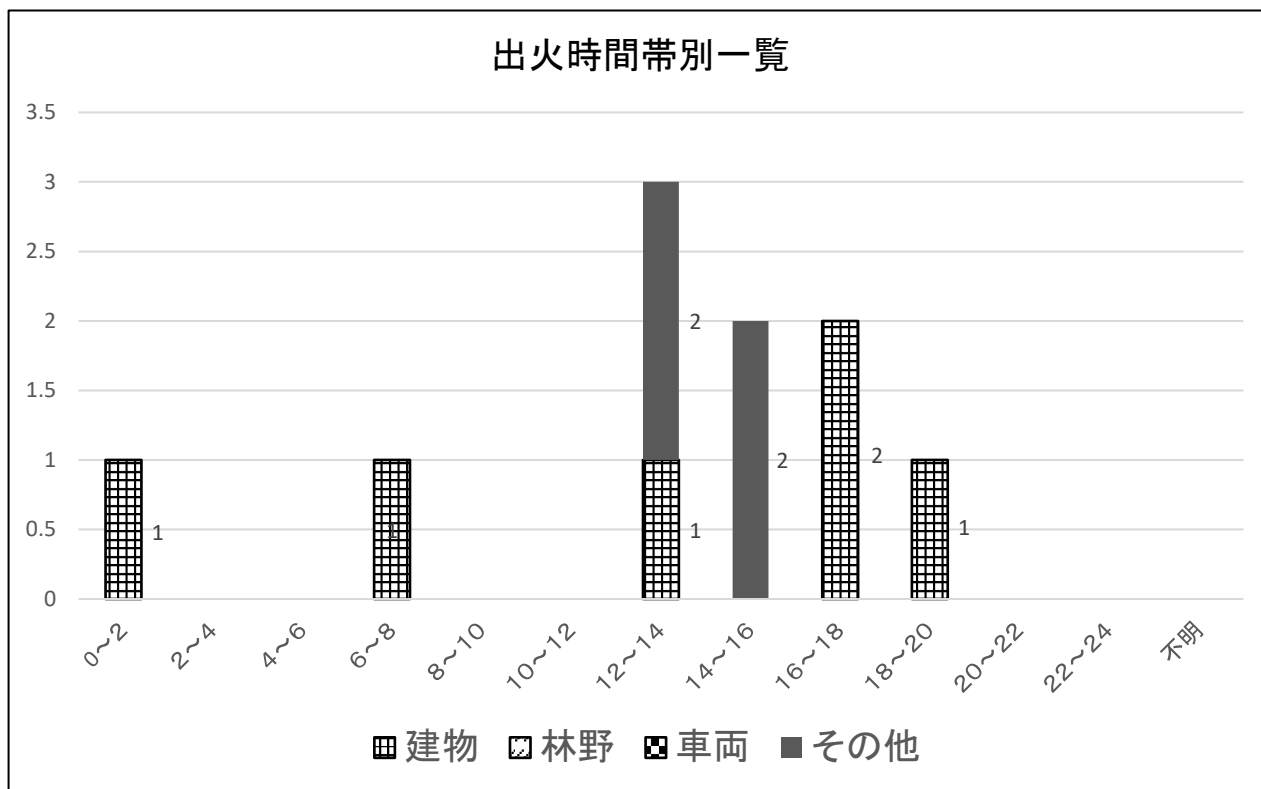
2 令和6年月別火災発生状況

月別 区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
火災件数	4	1	1				1	1	1	1			10
建物火災	2						1	1	1	1			6
林野火災													
車両火災													
船舶火災													
その他の火災	2	1	1										4
焼失床面積 (㎡)	68.91							0.2	158				227.11
焼失表面積 (㎡)	6.82									0.9			7.72
林野 (a)													
その他(a)													0
損害額 (千円)	306	0	0	0	0	0	0	1	275			0	582
建物火災	200							1	275				476
林野火災													
車両火災													0
船舶火災													
その他の火災	106												106
焼損棟数	4								1	1			6
罹災世帯数	5								1	1			7
死者数	1												1
負傷者数			1										1

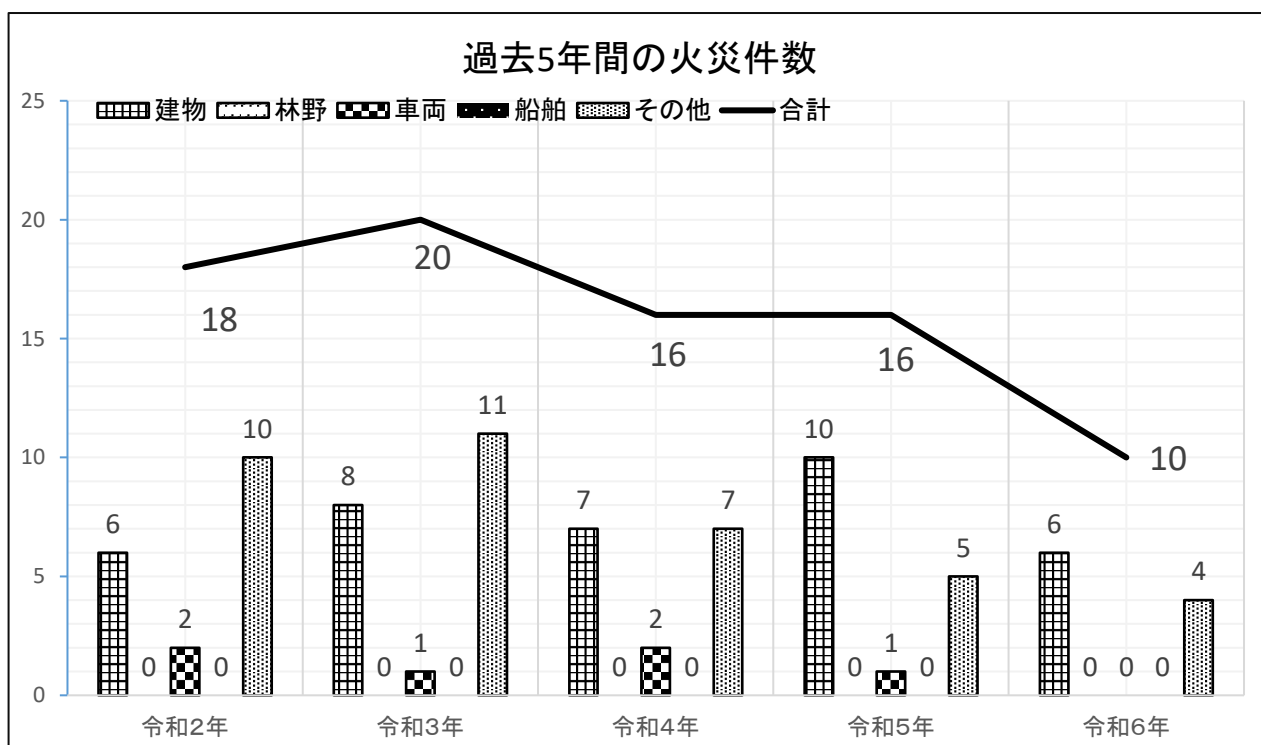
3 令和6年火災発生記録

件数	発生日時		鎮火 時分	火災 種別	出火地区	覚知 方法	燃焼 時間 (分)	焼失面積 m ² その他 a		損害程度 林野等は a	死 者	負 傷者	気 象 状 況					出 火 原 因
	月 日	時 分						床面積	表面積				天候	風向	風速	湿度	気温	
			時分	種別	119	0:20	0.2			—	ぼや	—						曇
1	1月14日	14:47	16:15	その他	北郷町 郷之原乙	駆け 付け 通報	1:28	—	—	—	—	—	晴	西南西	5	64	17	畔焼きからの延焼
2	1月14日	14:30	15:30	その他	北郷町 北河内	事後聞知	1:00	—	—	—	—	—	晴	西南西	5	64	17	畔焼きからの飛び火、輻射熱による
3	1月16日	1:00	3:20	建物	吾田東 一丁目	119	2:20	66.11	6.82	全焼1棟 部分焼2 棟	1	—	晴	北北西	2	77	4	不明
4	1月23日	19:01	19:46	建物	吉野方	119	0:45	2.8	—	部分焼	—	—	晴	北北西	2	77	4	風呂場の焚口からの延焼
5	2月13日	15:40	16:35	その他	南郷町 中村甲	119	0:55	—	—	—	—	—	晴	南西	6	55	19	火入れによる延焼
6	3月9日	15:11	15:58	その他	吉野方	119	0:47	—	—	—	—	1	晴	南東	4	46	72	火入れによる延焼
7	7月28日	7:45	7:55	建物	大字戸高	事後聞知	0:10	—	—	ぼや	—	—	晴	北北東	2	85	29	リール機より出火紙に着火したものの
8	8月26日	13:08	13:28	建物	南郷町 中村甲	119	0:20	0.2	—	ぼや	—	—	曇	東北東	7	78	31	放火
9	9月29日	17:10	18:48	建物	北郷町 内之田	119	1:38	158	—	全焼	—	—	晴	北北西	1	98	25	不明
10	10月22日	16:30	17:50	建物	油津三丁目	加入	1:20	—	0.9	ぼや	—	—	雨	西南西	3	99	23	サンダーからの飛び火

4 時間別出火件数



5 過去5年間別火災発生件数



6 平成14年以降の1,000万円以上の損害を出した火災

年 月 日 出火推定時刻	出 火 地 区	焼 損 概 要	原 因	損 害 額 (千 円)
平成14年 3月 8日 14時00分	油津・西町一丁目	住宅2棟全焼	不明	10,000
平成14年 5月 9日 4時30分	北郷・北河内	住宅1棟全焼	かまどの不備	23,335
平成14年 8月21日 18時55分	東郷・益安	住宅2棟全焼 住宅2棟部分焼	提灯の落下	11,668
平成14年 8月31日 16時40分	東郷・平山	住宅1棟全焼	てんぷら鍋 の放置	17,985
平成15年 1月14日 8時42分	油津・園田三丁目	木材乾燥機	不明	13,539
平成15年 9月22日 18時10分	東郷・平山	住宅1棟全焼 住宅1棟ぼや	不明	12,659
平成15年11月30日 16時10分	油津・油津一丁目	住宅2棟全焼 住宅4棟ぼや	てんぷら鍋 の放置	16,228
平成15年12月 5日 14時50分	吾田・吾田東二丁目	住宅1棟全焼 住宅2棟ぼや	不明	39,275
平成16年 3月14日 20時00分	東郷・風田	住宅3棟全焼 住宅1棟部分焼	不明	27,733
平成18年 2月16日 8時17分	南郷・外浦	漁船1隻全焼	不明	69,000
平成18年11月3日 10時31分	吾田・釈迦尾ヶ野	店舗1棟全焼	不明	16,329
平成18年11月 5日 8時28分	吾田・吾田西四丁目	店舗1棟半焼	不明	147,569
平成23年 8月20日 20時30分	南郷・津屋野	住宅1棟全焼	提灯の落下	12,714
平成24年 3月18日 22時30分	油津・木山	店舗1棟全焼	不明	56,441
平成24年 7月13日 19時00分	吾田・戸高	工場1棟部分焼	不明	63,816
平成27年12月11日 5時00分	北郷・北河内	豚舎1棟全焼	不明	17,384
平成28年1月11日 19時42分	北郷・郷之原	店舗1棟全焼	不明	32,551
平成30年3月2日 21時30分	油津・梅ヶ浜	工場1棟全焼	不明	105,489
令和5年1月31日 16時50分	吾田・星倉六丁目	住宅3棟全焼 住宅1棟部分焼	不明	14,337

7 平成14年以降地区別出火状況

(件)

地区 年	飢肥	吾田	油津	東郷	細田	鵜戸	酒谷	北郷	南郷	総計
平成14年	6	21	2	4	4	1	4	10	4	56
平成15年	6	14	7	9	1	2	1	2	7	49
平成16年	8	10	5	6	5		7	3	6	50
平成17年	4	9	3	5	4		3	2	6	36
平成18年	7	11	5	4	6	3	1		7	44
平成19年	8	13	2	3	1		6	2	9	44
平成20年	8	13	2	3	1		6	2	9	44
平成21年	3	5	7	2	2	2	4	3	4	32
平成22年	3	8	1	5	1			1	3	22
平成23年	3	9	5	5	2	4	1	8	7	44
平成24年	2	7	9	2	2			1	6	29
平成25年	3	6	3	1	2		2	6	1	24
平成26年	6	3	4	1	1	1		4	2	22
平成27年	2	2	2	2	2	3		5	5	23
平成28年	2	1	2			1	3	3	2	14
平成29年	1	6	2	5	2	3	1	2	6	28
平成30年	3	5	1		2	2		8	3	24
令和元年	2	2		1	1	2	1	4	5	18
令和2年		2	3	2	4			1	4	16
令和3年	5	4		2	1		1	5	2	20
令和4年	1	2	2	3	3		1	1	3	16
令和5年	1	5		3			2	1	4	16
令和6年	2	2	1					3	2	10
累計	86	160	68	68	47	24	44	77	107	681

8 平成14年以降死者を出した火災

年 月 日 出火推定時刻	出火地区	焼損概要	死者数	出火原因
平成14年12月25日 22時25分	北郷・郷之原	住宅1棟全焼	1	不明
平成15年 2月 4日 18時40分	飫肥・板敷	住宅1棟半焼	1	不明
平成15年12月12日 21時00分	吾田・星倉	住宅1棟部分焼	1	着衣着火
平成16年 3月 9日 6時15分	東郷・益安	住宅1棟全焼	2	不明
平成16年12月26日 18時10分	北郷・大藤	住宅1棟全焼	1	不明
平成17年2月19日 7時15分	南郷・栄松	住宅1棟半焼	1	放火自殺
平成17年 2月24日 3時20分	東郷・風田	住宅1棟全焼 非住宅1棟全焼	1	石油ストーブからの 出火
平成18年 3月23日 1時20分	鶺戸・宮浦	住宅2棟全焼	1	不明
平成18年 9月17日 22時57分	南郷・贄波	住宅1棟全焼	1	不明
平成19年 1月30日 17時29分	酒谷・上永野	住宅1棟全焼	1	てんぷら鍋の放置
平成19年 1月31日 5時45分	飫肥・吉野方	住宅1棟部分焼	1	放火自殺
平成20年 1月5日 5時 8分	東郷・風田	車両1台全焼	1	漏れた燃料にバッテ リーの火花が引火
平成20年 2月10日 7時00分	油津・油津一丁目	共同住宅 1部屋全焼	1	着衣着火
平成21年10月13日 6時17分	細田・塚田	車両1台全焼	1	漏れた軽油にバッテ リーの火花が引火
平成22年 8月14日 2時20分	東郷・松永	住宅1棟全焼	1	不明
平成23年 1月5日 9時48分	油津・岩崎二丁目	車両1台全焼	1	放火自殺
平成24年 5月29日 3時00分	細田・大窪	住宅1棟全焼	1	不明
令和元年10月 1日 17時59分	南郷・中村乙	住宅1棟部分焼	1	不明
令和 4年 4月28日 22時30分	南郷・潟上	住宅1棟全焼	1	不明
令和 6年 1月16日 1時00分	吾田・吾田東一丁目	住宅1棟全焼	1	不明

9 過去5年間の原因別出火件数と損害額

(単位：千円)

原因	令和2年		令和3年		令和4年		令和5年		令和6年	
	件数	損害額	件数	損害額	件数	損害額	件数	損害額	件数	損害額
たばこ			1							
たき火										
火入れ	7	1,042	8	215	6	15	4		4	106
火遊び										
こんろ					1	18				
放火			1	627			1	300	1	1
放火の疑い										
風呂・かまど					1	50			1	15
ストーブ										
マッチ・ライター										
煙突・煙道										
電灯・電話等の配線	1	141					1	143		
その他	1	4	5	1	2	4,500	3	190		
不明・調査中	6	12,858	5	13,996	7	14,487	7	19,962	4	460
計	16	14,045	20	14,839	16	19,070	16	20,595	10	582

10 過去5年間の林野火災

区分	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
火災件数 (件)	0	0	0	0	0
焼損面積 (a)	0	0	0	0	0
焼損額 (千円)	0	0	0	0	0
一件あたりの焼損面積 (a)	0	0	0	0	0
一件あたりの焼損額 (千円)	0	0	0	0	0

危險物

1 令和6年度の危険物関係及び防火対象物の概要

(1) 危険物関係

令和6年度の危険物施設は166施設で、令和6年度中は、設置許可申請が2件（移動タンク貯蔵所）ありました。廃止届はありませんでした。なお、当該危険物施設の立入検査につきましては、89件実施し、適宜火災予防上の指導を行いました。

危険物の事故等について、今年度は発生していませんが、事故等が発生しないように立入検査等を行い、事故防止に努めていきます。

令和6年度内の危険物施設の変更許可申請件数は18件で、危険物施設に多く見られる経年劣化に伴い、地下タンク貯蔵所のタンク及び配管の腐食箇所等から漏洩する可能性があります。また、全国各地で地震等の災害が発生していることに伴い、非常用発電機設備の設置が増加傾向にありますので、今後も継続して危険物施設の維持管理の徹底指導を実施します。

(2) 防火対象物

令和6年度の消防用設備等を要する対象物は1,595棟で、今年度は、消防本部対応120棟のうち55棟、消防署対応228棟のうち224棟、計279棟の防火対象物立入検査を実施しました。

平成18年1月8日、長崎県のグループホーム「やすらぎの里」で発生した火災で、死者7名、負傷者3名、さらに、平成25年2月8日、長崎市の認知症高齢者グループホームで発生した火災では、死者5名、負傷者7名を出す惨事が起きたことにより、消防法施行令等が改正され、避難困難者が主として入所する社会福祉施設に対し、原則として延べ面積に関わらず、スプリンクラー設備の設置、消防機関へ通報する火災報知設備と自動火災報知設備の連動を義務付ける事となりました。また、上記火災などを受け、ホテル、病院等においても、延べ面積に関わらず自動火災報知設備の設置が義務付けられる事となりました。

平成30年6月15日、住宅宿泊事業法が施行された後、既存住宅において宿泊施設を営む民泊が年々増加しています。今後も増加することが予想されることを踏まえ、不特定多数の方が利用される施設の消防用設備等の設置と維持管理の指導はもとより、違反対象物の是正を図っていかねばなりません。

2 危険物施設状況

(令和7年4月1日現在)

製造所別		地区別				
		日南地区	北郷地区	南郷地区	計	
製 造 所			1		1	
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	4		4	8	
	屋外タンク貯蔵所	19	5	7	31	
		特定屋外タンク	(2)			(2)
		準特定屋外タンク			(2)	(2)
	屋内タンク貯蔵所					
	地下タンク貯蔵所	12	7	3	22	
	簡易タンク貯蔵所					
	移動タンク貯蔵所	12	5	2	19	
	屋 外 貯 蔵 所	2		1	3	
	小 計		49	18	17	84
取 扱 所	給 油 取 扱 所	36	7	7	50	
		屋 内	(2)			(2)
		自 家 用	(13)	(3)	(1)	(17)
		船 舶	(1)		(2)	(3)
	一 般 取 扱 所	20	5	5	30	
	移 送 取 扱 所					
	第 1 種 販 売 取 扱 所			1	1	
	第 2 種 販 売 取 扱 所	3			3	
小 計		59	12	13	84	
合 計		108	30	30	168	

*()内については、施設内における特殊用途施設

3 危険物類別状況

(令和7年4月1日現在)

製造所別		類別	危険物の種類						計	
			第一類	第二類	第三類	第四類	第五類	第六類		混在
製造所					1				1	
貯蔵所	屋内貯蔵所				8				8	
	屋外タンク貯蔵所				31				31	
	屋内タンク貯蔵所								0	
	地下タンク貯蔵所				22				22	
	簡易タンク貯蔵所								0	
	移動タンク貯蔵所				19				19	
	屋外貯蔵所				3				3	
小計			0	0	0	84	0	0	0	84
取扱所	給油取扱所				50				50	
	第1種販売取扱所				1				1	
	第2種販売取扱所				3				3	
	移送取扱所								0	
	一般取扱所				30				30	
小計			0	0	0	84	0	0	0	84
合計			0	0	0	168	0	0	0	168

4 危険物数量別施設数

(令和7年4月1日現在)

製造所別		倍数別									計
		5 倍以下	10 倍以下	50 倍以下	100 倍以下	150 倍以下	200 倍以下	1,000 倍以下	5,000 倍以下	10,000 倍以下	
製 造 所		1									1
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	4	3	1							8
	屋外タンク貯蔵所	5	5	11	3	1		4	2		31
	屋内タンク貯蔵所										0
	地下タンク貯蔵所	11	5	6							22
	簡易タンク貯蔵所										0
	移動タンク貯蔵所	16		3							19
	屋 外 貯 蔵 所		2	1							3
小 計		37	15	22	3	1	0	4	2		84
取 扱 所	給 油 取 扱 所	1	7	14	10	8	2	8			50
	第1種販売取扱所	1									1
	第2種販売取扱所			3							3
	移 送 取 扱 所										0
	一 般 取 扱 所	13	4	9	3			1			30
小 計		15	11	26	13	8	2	9	0		84
合 計		52	26	48	16	9	2	13	2		168

5 危険物施設の許可申請等処理状況

令和6年度(件)

申請別 製造所別		設置許可	変更許可	完成検査前検査			完成検査		仮使用	仮貯蔵 仮取扱	計
				水張検査	水圧検査	溶接部検査	設置	変更			
製 造 所											0
貯蔵所	屋 内 貯 蔵 所										0
	屋外タンク貯蔵所		3		3			3			9
	屋内タンク貯蔵所										0
	地下タンク貯蔵所							1			1
	簡易タンク貯蔵所										0
	移動タンク貯蔵所	2	2				2	2			8
	屋 外 貯 蔵 所										0
小 計		2	5	0	3	0	2	6	0	0	18
取扱所	給油取扱所		13		3			12	10		38
	第1種販売取扱所										0
	第2種販売取扱所										0
	移送取扱所										0
	一般取扱所										0
仮貯蔵・仮取扱											0
小 計		0	13	0	3	0	0	12	10	0	38
合 計		2	18	0	6	0	2	18	10	0	56

6 危険物規制事務処理状況

令和6年度(件)

区 分		月 別												小計	合計	
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
保安監督者 選任・解任	日南地区	7			4								2	2	15	18
	北郷地区									1					1	
	南郷地区	2													2	
譲渡引渡届	日南地区	1													1	1
	北郷地区															
	南郷地区															
品名・数量 倍数変更届	日南地区															
	北郷地区															
	南郷地区															
工事届	日南地区	2		1	1	1	2	2	1	1		1		12	15	
	北郷地区									1				1		
	南郷地区		1						1					2		
休止・開始届	日南地区															
	北郷地区															
	南郷地区															
設置者・名称 所在地変更届	日南地区	3			1			3			1			8	9	
	北郷地区		1											1		
	南郷地区															
廃止届	日南地区															
	北郷地区															
	南郷地区															
予防規程	日南地区															1
	北郷地区															
	南郷地区	1												1		
計	日南地区	13		1	6	1	2	5	1	1	1	3	2	36	44	
	北郷地区		1							2				3		
	南郷地区	3	1						1					5		

7 危険物手数料徴収状況

(令和6年度)

申請書		件 数		手数料徴収額 (円)	計(円)	
手 数 料 内 訳	設置許可	日南地区	2	52,000	52,000	
		北郷地区				
		南郷地区				
	変更許可	日南地区	6	104,000	153,000	
		北郷地区	1	26,000		
		南郷地区	2	23,000		
	変更許可 及び仮使用	日南地区	8	272,200	335,000	
		北郷地区	1	31,400		
		南郷地区	1	31,400		
	完成検査	設 置	日南地区	2	26,000	26,000
			北郷地区			
			南郷地区			
		変 更	日南地区	13	153,500	191,000
			北郷地区	1	13,000	
			南郷地区	3	24,500	
	完成検査 前検査	溶接部 検査	日南地区			0
			北郷地区			
			南郷地区			
		水 張 検 査	日南地区			0
			北郷地区			
			南郷地区			
水 圧 検 査		日南地区	3	33,000	66,000	
		北郷地区	2	22,000		
		南郷地区	1	11,000		
仮貯蔵・仮取扱	日南地区			0		
	北郷地区					
	南郷地区					
少量危険物 水張水圧検査	日南地区			0		
	北郷地区					
	南郷地区					
合 計	日南地区	34	640,700	823,000		
	北郷地区	5	92,400			
	南郷地区	7	89,900			

予 防

1 防火対象物状況 (消防用設備及び防火管理者を要する対象物)

(令和7年4月1日現在)

区 分		棟 別	消防用設備等を要する対象物 (棟別)	防火管理者を要する対象物	防火管理者を選任している対象物
消 防 法 施 行 令 別 表 第 一 に よ る 防 火 対 象 物	1	イ. 劇場、映画館、演芸場又は観覧場	9	6	6
		ロ. 公会堂又は集会場	16	16	16
	2	イ. キャバレー、ナイトクラブその他これらに類するもの			
		ロ. 遊技場、又はダンスホール	7	7	7
		ハ. 風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律に規する 性風俗関連特殊営業を営む店舗			
		ニ. カラオケボックス等	1	1	
	3	イ. 待合、料理店、その他これに類するもの			
		ロ. 飲食店	57	37	32
	4	百貨店、マーケット、その他物品販売業を営む店舗又は展示場	92	57	52
	5	イ. 旅館、ホテル又は宿泊所	53	20	20
		ロ. 寄宿舍、下宿又は共同住宅	325	32	28
	6	イ. 病院、診療所又助産所	60	14	14
		ロ. 老人短期入所施設	63	48	48
		ハ. 老人デイサービスセンター等	89	26	26
		ニ. 幼稚園、・特別支援学校	8	3	3
	7	小・中学校、高等学校、大学その他これに類するもの	26	21	20
	8	図書館、博物館、美術館その他これに類するもの	5	4	4
	9	イ. 公衆浴場のうち、蒸気、熱気浴場その他これに類するもの			
		ロ. イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	3	1	1
	10	車両の停車場又は船舶若しくは航空機の発着場	2		
11	神社、寺院、教会その他これに類するもの	7	4	4	
12	イ. 工場又は作業場	310	15	11	
	ロ. 映画スタジオ又はテレビスタジオ				
13	イ. 自動車車庫又は駐車場	31			
	ロ. 飛行機又は回転翼航空機の格納庫				
14	倉庫	160			
15	前各項に該当しない事業場	194	48	44	
16	イ. 複合用途防火対象物のうち、その一部が(1)項から (4)項、(5)項イ、(6)項、又は(9)項に掲げる防火 対象物の用途に供されているもの	47	35	30	
	ロ. イに掲げる複合用途防火対象物以外の複合用途防火対象物	18	4	3	
17	文化財施設	10	4	4	
18	延長50m以上のアーケード	2			
計			1,595	403	373

2 令和6年度予防関係諸届出状況

(件)

件名	月別												計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
消防用設備等 着工届	1	3	3	3	0	2	3	4	1	0	7	3	30
消防用設備等 設置届	3	3	2	5	2	3	8	5	5	5	4	6	51
液化石油ガス 貯蔵取扱届	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	3
ボイラー設置届	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	4
煙火打上げ 仕掛け届	2	2	3	10	1	3	10	4	2	1	1	1	40
催物開催届	0	1	0	1	1	2	3	2	0	1	0	0	11
火入れ届	5	1	2	3	8	4	4	9	18	18	13	8	93
発電変電設備 設置届	2	1	0	0	0	2	0	1	1	1	1	5	14
罹災証明	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	3
防火管理者 選任解任届	17	18	6	5	5	8	5	1	7	9	2	8	91
防火対象物 使用開始届	3	0	1	1	1	0	3	4	1	1	1	4	20
消防計画届	16	19	12	9	7	16	8	3	9	8	2	8	117
消防用設備等 点検結果報告	64	55	60	84	37	128	68	90	70	110	47	160	973
防火対象物 点検結果報告書	4	3	2	2	2	1	1	5	5	2	10	7	44
自衛消防訓練届	48	25	43	34	21	39	68	52	49	36	21	55	491
計	165	131	134	157	85	208	184	184	169	193	109	266	1985

3 令和6年度月別工事別建築申請処理状況

(件)

種別 月別	同 意										指導件数	不同意	計	
	新築	増築	改築	用途変更	修繕	模様替	移転	仮設	許可申請	計				
4	3	1		1							5			
5	1										1			
6	5	1									6			
7	4										4			
8	3										3			
9	1		1								2			
10	5										5			
11	3										3			
12	5										5			
1	3	1									4			
2	1	2									3			
3		3									3			
計	34	8									44			

4 令和6年度用途別建築申請処理状況表

用 途		月 別												計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
	住 宅	4	1	4	2	1		4	1	2		1		20
	併用住宅					1								1
1	イ. 劇場、映画館、演芸場又は観覧場													0
	ロ. 公会堂又は集会場													0
2	イ. キャバレー、ナイトクラブその他これらに類するもの													0
	ロ. 遊技場、又はダンスホール													0
	ハ. 風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律に規定する性風俗関連特殊営業を営む店舗													0
	ニ. カラオケボックス等													0
3	イ. 待合、料理店、その他これに類するもの													0
	ロ. 飲食店								1					1
4	百貨店、マーケット、その他物品販売業を営む店舗又は展示場				1									1
5	イ. 旅館、ホテル又は宿泊所	1										1		2
	ロ. 寄宿舍、下宿又は共同住宅					1	2							3
6	イ. 病院、診療所又は助産院			1										1
	ロ. 老人福祉施設、有料老人ホーム、更正施設、児童福祉施設													0
	ハ. 老人デイサービスセンター等													0
	ニ. 幼稚園、盲学校、聾学校又は養護学校										1			1
7	小・中学校、高等学校、大学その他これに類するもの													0
8	図書館、博物館、美術館その他これに類するもの													0
9	イ. 公衆浴場のうち、蒸気、熱気浴場その他これに類するもの													0
	ロ. イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場													0
10	車両の停車場又は船舶若しくは航空機の発着場													0
11	神社、寺院、教会その他これに類するもの													0
12	イ. 工場又は作業場				1								2	3
	ロ. 映画スタジオ又はテレビスタジオ													0
13	イ. 自動車車庫又は駐車場							1		2			1	4
	ロ. 飛行機又は回転翼航空機の格納庫													0
14	倉庫									1	1			2
15	前各項に該当しない事業場								1		2	1		4
16	イ. 複合用途防火対象物のうち、その一部が(1)項から(4)項、(5)項イ、(6)項、又は(9)項イに掲げる防火対象物の用途に供されているもの													0
	ロ. イに掲げる複合用途防火対象物以外の複合用途防火対象物			1										1
17	文化財施設													0
18	延長50m以上のアーケード													0
20	その他													0
計		5	1	6	4	3	2	5	3	5	4	3	3	44

5 防火対象物の階層別状況

(令和7年4月1日現在)

階層別 令別表第1		3階	4階	5階	6階	7階	8階	9階	12階	計
		1	イ	1						
	ロ	1								1
2	イ									
	ロ									
	ハ									
	ニ									
3	イ									
	ロ	6	1							7
4		3	2							5
5	イ	8	1	1		2	2			14
	ロ	99	55	24	3	4		2	1	188
6	イ	4	3	1	2					10
	ロ	4	2	1	1					8
	ハ	1	1							2
	ニ									
7		32	2	1						35
8										
9	イ									
	ロ									
10										
11										
12	イ	6	2	2	2					12
	ロ									
13	イ									
	ロ									
14		1								1
15		25	5		1	1				32
16	イ	17	2	2			1			22
	ロ	4	4		2	1				11
16の2										
17										
18										
計		212	80	32	11	8	3	2	1	349

6 日南市幼年少年防火クラブ結成状況

幼年消防クラブ

(令和6年度)

NO	防火クラブの名称	結成年月日	会員数
1	浄念寺学園おび幼稚園幼年消防クラブ	昭和60. 12. 1	28
2	学校法人立正学園 立正幼稚園幼年消防クラブ	平成30. 5. 10	27

少年消防クラブ

NO	防火クラブの名称	結成年月日	会員数
1	北郷少年消防クラブ	昭和25. 4. 1	13



日南市消防本部

発刊日(令和7年9月):総務課

〒889-2524

宮崎県日南市大字殿所 2026 番地 9

TEL:0987-23-1316

FAX:0987-23-7653

Eメール:s-soumu@city.nichinan.lg.jp